様式4

事務事	事業	7612	事 務	過疎対策事	芈					担	当	部	建設部
コー	ド	7012	事業名	四	*					担	当	課	土木課
政策	名	1	1 快適で魅力あるまちづくり									- プ	道路整備第1·2G
施策	名	2	交通体系の3	交通体系の充実 電話:									45-5111
基本事	業名	1	道路ネットワ	一クの構築						内	線番	号	2771 • 2774
予算	会計	一角	股会計										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	2	道路新設改良	費		Π·	-ド 761231

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

単位:千円

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)
	通行の安全が図られる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる

番号	路線名等 平成22年度 平成23年度			完了	備考		
号	始 禄石寺	区分	実績	区分	計画	予定	1 拥 右
1	横川〜山ヶ野線	継続		継続	改良工事 L=100m (繰)設計委託 L=270m	H 24	H22→H23 繰越 6,635千円 設計委託 L=270m
		横川		横川	36,635		
2	下植村~水窪線		改良工事 W=5m L=269m		(繰)改良工事 W=5mL=269m	H 22	H22→H23 繰越 32,700千円
		横川	15,300	横川	32,700		改良工事 L=269m
3	城山線			新規	以艮上事 L=100m	H 28	
				横川	61,000		
4	宿窪田線				委託設計 L=1300m	Н 30	
				牧園	13,000		
5	三体堂線				用地補償 一式	H 26	
				牧園	10,000		
6	落水田~万膳線				改良工事 L=100m	H 25	H22は道路新設改良 事業
				牧園	27,000		尹禾
7	龍石線	継続	(繰)改良工事 L=100m (繰)用地補償 一式	継続	改良工事 L=140m	H 27	H21→H22 繰越 14,167千円
		牧園	14,167	牧園	5,000		改良工事 用地
8	牧野柴建線			継続	用地補償 一式 委託設計 L=380m	H 25	
				福山	5,000		
9	宝瀬線			継続	用地補償 一式 改良工事 L=100m	H 27	H22は道路新設改良 事業
				福山	18,700		サ木
10	大屋敷線			継続	改艮上事 L=100m	H 25	H22は道路新設改良 事業
]	, . i.i		福山	21,000		
1	<地区別>	総	送続= 3 新規= 0	総	⊌続= 9 新規= 1 <u>1</u>	l	

H 22 H 23 国分 溝辺 横川 3 牧園 1 4 霧島 隼人 福山 3

<全体事業費>			平成22年度決算(A)	平成23年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)			
事	業	費	29,467	230,035	200,568			
事	務	費			0			
合		計	2路線 29,467	10路線 230,035	8 路線 200,568			

		_				
<財源内訓	<5	平成22年度決算(A)	平成23年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)		
国庫補	助 金			0		
県支は	出 金			0		
地 方	債	29,300	229,600	200,300		
そ の	他			0		
一般具	才 源	167	435	268		
合	計	29,467	230,035	200,568		

(2)事務事業に対する住民意見等

① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか?

② この事務事業に対する議会から出された意見

要望が寄せられている。

各路線に対して、地元自治会等から道路拡幅の早期着工、早期完成の 牧野柴建線など本路線の道路拡幅の早期着工、早期完成の要望が寄せられ

	S事業 ード 7	61231 事 務 事業名	過疎対策事業		担当部建設部担当課土木課		
	1.	デボコ			造 当 麻 工水麻		
2 評	価の部 <	<see></see>		評価	評価理由		
	目的妥当性	① 政策体系と・この事業のホシートの終	の整合性 目的は基本事業の意図(基 果)に結びつくか?	■ 結びついている □ 見直す必要がある	この事務事業を実施することにより、市民が安全快適に移動することができるようになり、市の政策の「快適で魅力あるまちづくり」に結びつく。		
	評価	② 公共関与の・この事業をないのか?)妥当性 なぜ市が行わなければなら して、達成する目的か?	■ 妥当である □ 見直す必要がある	公共施設の整備は、市の義務であり、幹線道路 を整備する事は妥当である。		
Вф	有 効性評価	<u> </u>	の成果への影響 廃止又は休止した場合にと があるか?	■ 影響がある □ 影響がない	市民が安全快適に移動できなくなり、市の政策 の「快適で魅力あるまちづくり」が実現不可能に なる。		
C #	办率性評価	削減できない	の適正化等により事業費を	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト縮減を図っている。		
C x	刀举注託训	(5) 人件質(進・やり方を工き時間を削減で		■ 削減余地がない □ 削減余地がある	事業に関しては最低限の職員数で担当している。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督業務は勤務時間内で対応することで人件費の抑制を行っている。		
D 2	公平性評価		費用負担の適正化余地 が一部の受益者に偏って ではないか?	!	道路整備は公共性が高く、不特定多数の人が 利用することから、公平性は保たれる。また、受 益者負担は求めていない。		
	(1)1次	評価者(課長)とし	ての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省)	点)		
総括	A 目的妥 B 有効性 C 効率性 D 公平性	————————————————————————————————————	□ 見直す必要がある□ 見直す必要がある□ 見直す必要がある□ 見直す必要がある	厳しい財政状況の中、事業の進捗に るよう、早期完成を目指して事業を推	若干の遅れを感じるが、市民の要望に応えられ 進する。		
3 4	後の方向	性 <plan></plan>					
		こもとづく今後のス		(2)具体的な改善計画 (又は廃	・ ・休止すべきとした場合の理由)		
	- Marian 廃止		①②、有効性③の結果]				
	休止		①②、有効性③の結果]				
	,你在]有効性改割		[有効性③の結果]	 広節囲にわたろ事業宝施筒所にかる	が、できるだけ現場に赴き、現地での声を生かし		
		っ 善(コスト削減)	[効率性④⑤の結果]	た道路改良事業を実施していく。	W C C DICIT DEMINERATE CADE CADE CADE		

[公平性⑥の結果]

□ 公平性改善

■ 現状維持・継続

		-			3 323 3 717 111				<u> 3 - 12 Mu</u>		<u> </u>	<u> </u>	_		1.3.1.
事務事業コード		761		事 務 事業名	橋梁長寿命化修繕事	業					担担	当当		建設部土木課	
	•			-							1=		卟	エハい	
政策	名	1	快通	箇で魅力?	あるまちづくり						グ	ルー	- プ	道路維持ク	ブループ
施策	名	2	交通	通体系の	充実						電	話番	号	45-5111	
基本事	業名	1	道路	各ネットワ	一クの構築						内	線番	号	2761	
	会計	— ∮	般会計				事業	平成	21	年度	~	平成		年度	
予	款	8	土オ	 大費			期間	1 1%	21	十尺		1 //		十戊	
算 科	項	2	道路	各橋梁費											
目	目	1	道路	各橋梁維:	特費		根拠法令・ 条例等	道路法 第42条第1項							
	コード	761	1170				N 1/1 1/1								
関連語	計画														

① 事業開始の理由及び事業の概要

高度経済成長期に架設された大量の橋梁が、一斉に老朽化し橋の特になし寿命が近づきつつあることにより事業を開始した。

長寿命化修繕計画に基づく計画的かつ予防的管理を行い、橋梁の長寿命化を図る。その結果、橋梁が一斉的に劣化・損傷することが回避でき、安心安全な交通の確保と橋梁に係る長期的な費用の縮減を図る。

全橋の概略点検実施→詳細点検→長寿命化計画書作成→長寿命 化計画に沿って事業(補修工事)申請→事業(補修工事)実施→完 マ

② 事業に対する意見・要望
(誰からの意見か明記)事業に対する議会から出された③ 事業に対する議会から出された

平成19年度第3回(9月)定例会市議会 において市議より、橋梁の点検管理に 係る一般質問が行われるなど、市民の 関心が高まっている。

質問内容は、15m以上の道路橋の数 や耐用年数、点検・管理状況に関するも のであった。

Ç	3 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア	市民	計画的で予防的な管理を行うことにより、橋梁を 長寿命化する。	安全・快適に移動ができる。
1	霧島市が管理する道路橋梁		

全体計画 (H 21 ~)	平成21年度までの実施状況	平成22年度 実績	平成23年度 計画
	橋梁概略点檢647橋を実施	要な橋梁について抽出し、詳細な点	長寿命化修繕計画の策定:計画の 目的、対象橋梁、現状把握及び維 持管理補修方針、点検計画、修繕・ 架け替え計画、事業効果を計画策 定する。
平成24年度 計画	平成25年度 計画	平成26年度 計画	平成27年度以降
訂画 橋梁修繕工事及び定期点検を行う。	新圏 橋梁修繕工事及び定期点検を行う。	高(四	計画

(2)事業費 単位:千円

	全体計画		
(H 21 ~)	
	単独	補助	合計
国		114,143	114,143
県			
地 方 債			
辺 地 債			
過 疎 債			
合 併 特 例 債			
その他			
一般財源		104,895	104,895
計		219,038	219,038

			単化	立:千円		
	H 22年度	H 23年度	前年度比較			
	決算 (A)	計画 (B)	(B)-(A)			
当初予算額	23,700	23,000	▲ 700	3% 減		
補正予算額	-9,630					
予 算 合 計	14,070	23,000	8,930	63% 増		
国 庫 補 助 金	7,361	12,650	5,289	72% 増		
県 支 出 金						
地 方 債						
その他						
一般財源	6,709	10,350	3,641	54% 増		
支 出 合 計	14,070	23,000	8,930	63% 増		

	単	位:千円	事務事		170	事		2長寿命化修	§繕事業				担当部担当課		
	区	分		全体計画			平	成21年度ま	での		平成22年度	Ę		平成23年度	Ę
	事	業内容業 量	(H 21 ~)				养梁概略	実施状況 点検647橋を実施 詳細点検:健全度が低い、または 重要な橋梁について抽出し、詳細 な点検を実施する。				(計画) 長寿命化修繕計画の策定:計画の 目的、対象橋梁、現状把握及び維 持管理補修方針、点検計画、修 繕・架け替え計画、事業効果を計 画策定する。			
			単独	補助	合	計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報	栖	7-34	1111223		41	7-124	1111293	ни	T-34	1111293	ни	T-34	111123	ни
2	給														
4	職共	員手当等 済費													
7	賃														
8	報														
9	旅														
10	交需														
' '	_	消耗品費													
	_	然 料 費													
	-	食料費													
		印刷製本費 光 熱 水 費													
	- 1	多 繕 料													
12	役	務費 通信運搬費													
	-	古 告 料													
	=	手 数 料													
	_	呆 険 料													
13	委	託 料 用料及び賃借料		49,038	49	9,038		11,968	11,968		14,070	14,070		23,000	23,000
15		事請負費		170,000	170	0,000									
16	原	材料費													
17		有財産購入費													
18		品購入費 E金補助·交付金													
20	扶	助費													
21		付 金													
22		賞補填及び賠償金 電金利子・割引料													
24		資及び出資金													
25	積														
26	寄														
27 28	公繰														
20	小木	計		219,038	219	9,038		11,968	11,968		14,070	14,070		23,000	23,000
		围		114,143	114	1,143		9,132	9,132		7,361	7,361		12,650	12,650
	116	県土は													
	地	方 债 U 地 () () <th></th>													
財源	ì	過 疎 債													
内訳	1	合併特例債													
	そ	の他													
	_	般財源		104,895	104	1,895		2,836	2,836		6,709	6,709		10,350	10,350
		計		219,038	219	9,038		11,968	11,968		14,070	14,070		23,000	23,000
裤	助四	国 国				$-\Gamma$					1/2			1/2	
		基本額						_							

平成22年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算	23,700
補正予算	(9,630)
合 計	14,070
合 計	14,070

✓ THI II.	- J' # P'I				平114.	1 1 1
第1回		第4回		第7回		
第2回		第5回		第8回	(9	9,630)
第3回		第6回				

	単位:千円	事務事業 コード	7611	70 事	務業名	橋梁長寿命化修	§繕事業				担当部担当課		
	区分		或24年度 (計画)			平成25年度	[平成26年原	ŧ	平	成27年度以	以降
				点検を行	橋梁値う。	多繕工事及び定期	点検を行		(HI III)			(H) Edy	
		単独	補助	合計	単	独 補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
2	報 酬 給 料												
3	職員手当等												
4	共 済 費												
7	賃 金				-								
9	報 償 費 旅 費				-								
10	交際費				L								
11	需 用 費												
	消耗品費燃料費												
	食料費												
	印刷製本費												
	光熱水費												
	修繕料												
12	役 務 費												
	通信運搬費												
	広 告 料 手 数 料												
	保 険 料												
13	委 託 料												
14	使用料及び賃借料		=	5 0.000		100.000	100.000						
15 16	工事請負費原 材 料 費		70,000	70,000		100,000	100,000						
17	公有財産購入費												
18	備品購入費												
19 20	_{負担金補助・交付金} 扶助費												
21	貸付金												
22	補償補填及び賠償金												
23	償還金利子・割引料 ・tu.次.p. t.(山.次.c.)												
24 25	投資及び出資金 積 立 金												
26	寄附金												
27	公課費												
28	繰出金計		70,000	70,000		100,000	100,000						
H	国		35,000	35,000		50,000	50,000						
	県												
	地方债												
財源	辺 地 債 過 疎 債												
内訳	合併特例債												
九	7 6 11												
	そ の 他 一般財源		35,000	35,000		50,000	50,000						
	計		70,000	70,000		100,000	100,000						
雄	助率		1/2			1/2							
補	助基本額												

	務事業 76	事 務 橋梁 事業名 橋梁	長寿命化修繕事	業	担当部建設部担当課土木課
	呼価の部 <			評価	12 3
∠ #1		① 政策体系との整合	性	ат іш	叶顺连 田
AF	目的妥当性	・この事業の目的は基本シートの結果) に結	基本事業の意図(基	■ 結びついている □ 見直す必要がある	橋梁の劣化・損傷を計画的に補修することで、安心安全で快適に移動ができることにつながる。
	評価	② 公共関与の妥当性・この事業をなぜ市がないのか?・税金を投入して、達	行わなければなら	■ 妥当である □ 見直す必要がある	市道に架かる橋梁の管理は、管理者である市の責務であるので市が行うことが妥当である。
D 7	有効性評価	③ 目標達成度・整備目標に対して事でいるか?		■ 順調に進捗している □ 遅れている	計画年度とおりに進捗している。
D 1	月初江計画	④ 廃止・休止の成果へ ・事務事業を廃止又に のような影響があるか	は休止した場合にど	 ■ 影響がある □ 影響がない	橋梁長寿命化修繕を廃止・休止することは、橋梁 の老朽化が進み膨大な修繕料が必要となり、また、 通行の安全が図れなくなる。
C *	効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業 か?(仕様や工法の過 力など)	と費を削減できない 適正化、住民の協	 ■ 削減余地がない □ 削減余地がある	調査に基づいて、コスト縮減を図り補修計画をたて て実施することから削減余地はない。
	少华 注計 1世	⑥ 人件費(延べ業務日 ・やり方を工夫して事時間を削減できないか	務事業に係る業務	■ 削減余地がない ■ 削減余地がある	専門性の高い調査や補修計画は委託業務を行い、事業遂行は正規職員で行っているので削減余地はない。
D 1	公平性評価	⑦ 受益機会・費用負持 ・事業の内容が一部の いて不公平ではないた	の受益者に偏って	■ 公平・公正である □ 見直す必要がある	市道橋は、不特定の市民が利用することから受益者は特定できない。
	(1)1次評	価者(課長)としての評	価結果	(2)全体総括(振り返り、反	省点)
総括	A 目的妥当 B 有効性 C 効率性 D 公平性	■ 適切 □ 見直	す必要があるす必要があるす必要があるす必要がある	この事業は、施策体系に沿って適	切に実施されている。
3 ≙	後の方向性	: < DI AN >			
		もとづく今後の方向性		(2)具体的な改善計画 (又に	は廃止・休止すべきとした場合の理由)
	<u> </u>	[目的妥当性①②、有	効性④の結果]		
] 休止] 有効性改善] 効率性改善	[目的妥当性①②、有 [有効 (コスト削減) [効	効性④の結果] 性③④の結果]		て、平成23年度に橋梁長寿命化修繕計画を作成 急性を考慮し橋梁の長寿命化に向けて予算の標準

□ 公平性改善 ■ 現状維持・継続 [効率⑤⑥の結果] [公平性⑦の結果]

評値	面対象年度	平成	22年度	事	務事業評価	表 <一般月	<u> ></u>				様式
-	事務事業コード	76	1710 事	務 市道	道•橋梁台帳整備事業			担担		建設部土木課	
	政策名	1		述力あるまな	らづくり				゛ュ゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜゜		ープ
	施策名	2	交通体系	系の充実				ŧ	意話 番 号	45-5111	l
基	本事業名	1		ットワークの	構築				線番号	2763、2	764
	会計 予 款	8	般会計 土木費			□ 単年		ʹ⊁ 遠(開始年)	÷ 11.17		`
	算	1	土木質	理費		间		医以开始 <i>中。</i> 复数年度(雙 H 17 ~)
	科 <u>增</u> 目 目	1	土木総		根拠	注合.					,
	コード	76	51710			列等 道路法、道	路法	他仃規則			
	関連計画										
1.	現状把握	(1)	事務事業の	目的と指標	₹ <d₀></d₀>				22年度宝经	Ė	
	手 段(事務							十八	22年度実績	₹	
ては	、市道や橋梁	の認定	定•廃止•変更	を行い、その	行道)や橋梁の台帳(図面)を り後、台帳の補正を行う。 台巾 本像を把握し、機能確保を図	帳を整備することに よ)再編を進め 「ジタルシス		
							活動	平成	23年度計画	1	
							到	市道台帳の る。)再編を完了	し、議会の対	承認を得
2	活動指標(基	事務事	事業の活動量)		単位	<u> </u>	21年度 (実績)	22年度	23年度 (見込)	24年度 (見込)
ア	認定•変更•廃	止路	線数			本		12		4,317	1
1											
ウ	(=#-	· /=r÷	.		(①牡佐の上もと)	s.		21年度	22年度	23年度	24年度
3		、何を 象にし	ェ しているのか)	④ 対象	指標 (③対象の大きさる 表す指標			(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	市道(認定・認	定外)	市道延長		Km		1,568	1,568	1,568	1,568
1	橋梁			橋梁数		橋		660	660	660	660
ゥ											
	意 図 (対	象をど	うしたいのか)	⑥ 成果	指標 (⑤意図の 達成度を表す:	指標) 単位	·	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (見込)	24年度 (見込)
ア	市道・橋梁の愉			霧島市道	路台帳再編計画達成度	%		80		100	100
1		"									
ウ	(1)	1 2 /	de m)		(@/hm a)t			04 55 55	00/5	2055	0.4 /= ===
7			結果に 付けるのか)	⑧ 上位	成果指標 (⑦結果の達 を表す指		-	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (見込)	24年度 (見込)
ア	安全・快適に種	多動か	ぶできる	改良率		%		54.9	55.0	57.0	57.0
1	安全・快適に種	多動か	ゞできる	渋滞箇所			:	9	9	8	
(2)	事業費			単位:千円	(3)事務事業の環境変						
			22年度	23年度	① この事務事業は、い きっかけで開始される	つ頃、どのようなたのかっ	2	事務事業をは5年前と			
	当初予算額		(決 算) 23,720	(予算) 17,660	市町合併により霧島市とし	ての台帳整備が必	特に		11. ((2)	发17.77.0 2	//J·:
予 算	補正予算額	-	8,000	11,000	要になり、平成17年度より	開始している。					
額	予算合計		31,720	17,660							
!		_	-,. = 0	,000							
	国庫補助金		0		③ この事務事業に対し 見や要望が寄せられ	て誰からどんな意	4	この事務事	業に対する	る議会から	出された
_	県支出金	\perp	0			にいるか?		意見			
決算	地方債	\perp	0		特になし		特に	<i>x</i> L			
額	その他	\perp	0								
	一般財源		31,702				1				

支出合計

31,702

事務	条事業 一ド	761710	事務市	直∙橋梁台	計帳整備事業					担当部	建設部 土木課	
	1,			22年度	(沖質)	亚战	23年	(当初予算)	1		24年度 (目认)
		単位:千円	単独	補助	合計	単独		助合計		単独	補助	合計
1	報	栖										
2	給	料										
3		手当等										
7	<u>共</u> 賃	済 費 金										
8	 報	<u></u>										
9	 旅	費										
10	交	際費										
11	需	用 費										
		耗品費										
	燃食	料 費 料 費							-			
		刷製本費										
		熱水費										
	修											
12	役	務費										
		信運搬費										
	広手	<u></u> 告 料 数 料										
	保											
13	委	託 料	31,702		31,702	17,660)	17,6	660	16,000		16,000
14		料及び賃借料										
15		請負費										
16		材料費										
17 18		財産購入費										
19		- ハ 貞_ :補助・交付金										
20	扶	助費										
21	貸	付 金										
22		填及び賠償金										
23		利子・割引料										
24 25	積	及び出資金 立 金										
26	寄	 附 金										
27	公	課費										
28	繰	出 金										
		計 —	31,702		31,702	17,660)	17,6	60	16,000		16,000
		国 県										
	地	原 方 債										
財	辺											
源	過											
内訳	合	併特例債										
グ店	7	- III										
	そ - +	の 他 般 財 源	31,702		31,702	17,660	1	17,6	60	16,000		16,000
		<u>段 </u>	31,702		31,702	17,660		17,6		16,000		16,000
	* pr -	国	52,102		01,102	2.,000		_		_0,000		10,000
	甫助率	県		_			_	_				
補		基本額										
平		初 予 算			23,720 千円	[平成	22 年度 財流	原内記	尺の「その他	」の内訳	
成	_	正 予 算			8,000 千円							
22	第 1 第 2			第5回 第6回			矣 h]費等の事業実	≧協介)ための 0 7	1000円	
年	第3			第7回	(12月)	8,000	ジル	・只可いず木ブ	< n ₪ 0 J	,,_w,\v,14x,)	ヽロルツフ	
度	第 4			第8回	. , , ,	, = -						
		算 合 計			31,720 千円							

	務事業 Iード	761710	事 務事業名	市道•橋氵	喬梁台帳整備事業				<u>担 当 部</u> 建設部 担 当 課 土木課					
2	評価の記	部 <see></see>	,			評価			評価理由					
А	•=0		を合性 目的は基本事 果) に結びつく			ついている	-	市道の全	備することにより、市有地と民地の境界が明確になり、 体像を把握し、機能確保を図れることから、しいては、 適な移動ができることになる。					
目的妥当	・このか	??	当性 市が行わなけた 、達成する目的		■ 妥当	である す必要が	ある	市道というの責務で	う「市の財産」の全体像を管理することは、道路管理者 ある。					
性評価	③ 対象	東・意図の妥				を見直す	必要がある 必要がある	市道・橋須妥当であ	梁の情報を管理するためのものであり、対象・意図とも る。					
	④ 成	見の向上余 り	也			2,000,7	0 2 10 00 0							
В	上さ	せることができ			(+3	余地はない 分に成果か	が出ている)	台帳再編 100%整備	るについては順調に進んでおり、平成22年度には 備できた。					
有効性	·事		!果への影響 :又は休止した か?		影響				良路線の詳細が把握できず、財産の管理・機能確保が よる上に、地方交付税の算定基礎数値の変更ができな					
評	⑥ 類(以事業との紀	抗廃合・連携	の可能性	■ #11-	手段がなり	`		(他に手段がある場合の事務事業名等)					
価	・目: 外の ・類:	的を達成する)手段はないな 似事業との統	ためには、この	か事務事業以 ・図ることによ	□他に□糸	手段があ	る い □ 連携	できない						
	(7) 事事	美費の削減	余地		L 不	TE CEO	□埋捞	(Ce 8)						
C 効	・成: か? ど)	果を下げずに (仕様や工法	事業費を削減の適正化、住	民の協力な		余地がな		法にある「	「要素仕様」であり削減余地はない。					
率性評価	・や を削 ・成	り方を工夫して 減できないか		係る業務時間		余地がな			帳の基礎部分は、市職員が作成しているが、必要最小限の 務であり、削減の余地はない。					
D公平性評価	·事 不必	業の内容が一 と平ではないた	 負担の適正 部の受益者に か? ・	こ偏っていて		・公正であ			能確保の為の基礎資料の台帳を整備することなの はなく、公平・公正である。					
	(1)1%	文評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全	体総括(振	り返り、反	支省点)					
総	ΑE	的妥当性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある	計	路線の再編	及び新規語	認定を行いながら、林務水産課・耕地課と連携し農道・					
	B有	ī効性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある	林道か	ら市道への	移管、市道	並から農道・林道への移管を行い、お互いの管理物件					
括)率性	■適切	□ 見直す必		また、	!を図ってい 広域に及る		め、一定の地域に偏らないように配慮する必要がある。					
		·平性	■適切	□□見直す必	必要がある									
		方向性 <pl 里にもとづく</pl 	AN> 〈今後の方向	144:			(2) 廃止 7	7件休止?	すべきとした場合の理由					
(1)	一 廃业			」」王 当性①②、有	効性(5)の	:結果]	(乙/完工)	CIO WILL	9、1000に関ロの連由					
				·当性①②、有										
		再設定		的妥当性①③										
		€統合•連携 h性改善(成集		'効性⑥の結果 '効性④の結果	_									
		がは改占(及る 区性改善(コス		が仕金り船が 率性⑦⑧の絹	_									
	□ 公平	性改善	[公	平性⑨の結果	[]									
	■ 現状	₹維持・継続												
(3)	目体的	な改善計画	·	(1)のチェック	が頂日にも	計 目体	めにどのと	シューロットリネロミ	かのか					
				期待される郊					さらん き具体的な内容					
市有		管理用資料の	た道路等の台 作成及び地方	帳整備。 5交付税等の3		道路改良等	辞に伴い完成	艾した道路 等	等の台帳整備					

評値	西対象年	F度	平原	戊 2	2年度	Ę	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	業	<u>評価</u>	<u> </u>	_ <	(道路	B整值	備∙ः	複数路						様式4
事	事務事業 コード		761 ⁻	110	事事	務 業名	地	— 方改割	— 善施設	整備事	 業 							担担			『建設音 ▼土木護		
	政策名		1	作:	夬適て	き魅力)ある	まちつ	ゔくり									グ	ル・	- フ	プ道路維	掛持グル	ループ
	施策名		2				の充実														} 45−51	11	
基	本事業		1			ヾットワ	ワーク	の構	築									内	線	番号	3 2761		
	算 会			股会																			
科	目	欠	8	土	木費			I	項 2	道路	橋梁第	費		目	1	道	路橋梁維	持費	Ì		1ード	7611	10
1.	現状把	握	(1)	事:	務事	業の	目的	<0) ₀ >				Γ								単位	立:千	円
3	対象	(推、作	可を	対象に	こして	いるの	カュ)	④ 意		(対象	見をどうし	したい	のか)			⑤ 結:	里	(どん	な結	果に結び	バつける	のか)
市月 市道	己 <u></u>								狭小道	道路が改	修され	移動が	しやし	くなる。			安全•快遍	適に移	動が	できる) _o		
番									平成:	22年度					平成	234	丰度		5	完了		I++ -+v	
番号		路	線名	等			区分		1 720-	実績			区分		1 /2		画			予定		備考	
	±++0 □	ψά					新規	工事I	_=90m				継続	工事L	=73m					1.00			
1	向花3号	· 緑					国分	 			25.	,190	国分				2.	5,000	- 1	H 23			
								一声	L=120m			,150		工事			2.	0,000			+		
2	湊9号線	Į						上尹□						上尹					F	H 23	H22→I	H23繰走	<u> </u>
							国分	<u> </u>			4,	,000	国分					7,500	-		+		
3	高日山総	泉										ļ	新規	用地测	則量・月	用地	・補償費		F	H 25			
													国分				(6,726					
4																							
4																							
													<u> </u>						\top				
5								<u> </u>											_				
Н							<u> </u>	<u> </u>											+		 		
6																							
	_											-]		
7								-					-						\dashv				
H																			\top		†		
8								<u> </u>					<u> </u>						_				
								 					_						-		+		
9																							
10												ļ											
10													-										
	<地	区別	J >				継	Ŀ続 =	0	新規	[=	2	継	≚続 =	2		新規=	1					
		H 22	: Н	23	<全	҈体事	業費	>	2	平成22	年度決	- 算(A))		平成2	23年	度計画((B)		前年	年度比朝	交(B)-	(A)
1	国分	2	3	3	事	<u>************************************</u>	<u></u> 集	費				29,	190				39	9,226				10),036
	溝辺				事		务	費					471					690					219
	横川				合			計		2路線	Į.	29,0	661		3路	各線	39	9,916]	1 路線	10),255
	牧園																						
	霧島						7訳>		Ī	平成22:	年度決				平成2	23年	度計画(前年	年度比較		
	<u>集人</u>		₩				甫助					13,5	13				15	,595	_			2	2,082
	福山			_	県	支		金															0
					地			債															0
					そ	<i>О</i> .		他源	<u> </u>			16.1	10				9.4	201	-			c	0
					合	ガ文		計				16,1 29,6						,321					3,173),255
10		ـ منالد م ــ		L -				П				23,0	01				99	,310				10	1,200
	事務事							Ja 1	. 7 1. 6			<u> </u>	о т	ᅏᆂᄲ	#- 1 — 1	<u> </u>	7 学 人 1.	S die	- 1. <i>-</i>	ᅔ			
_	誰から。 図自治公											_					る議会か 路の改善					テルス	
166	701041	レベスロハ	,-O.	みら	, 259	bl limit.	百にみ	つ女王	Ξ <i>Ν</i> -α <i>)</i> ′ω _ο)		137.10.1	平平門 Vノ.	四4いよ	. V -3/C/1	1,1户	四少以音	VC JV	く四天	五 ()	貝川かく	(1 .0))

事務事業	701110	事 務	地大小美族乳肉供食器	担	当	部	建設部
コード	761110	事業名	地万改善施設整備事業	担	当	課	

2	呼価の部 <	SEE>	評価	評価理由
	目的妥当性	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	■ 結びついている □ 見直す必要がある	集落道路である狭小道路の改修により、市民が 安全・快適に移動ができることにつながる。
	評価	② 公共関与の妥当性・この事業をなぜ市が行わなければならないのか?・税金を投入して、達成する目的か?	■ 妥当である	市道(集落道路)の改修は、管理者である市の 事務であるので市が行うことが妥当である。
В	有効性評価	③ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にど のような影響があるか?	■ 影響がある □ 影響がない	集落道路の改修を廃止・休止することで、市民 の安全・快適な通行が図れなくなる。
C 7	効率性評価	④事業費の削減余地・仕様や工法の適正化等により事業費を 削減できないか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	改修の工法については、コスト縮減を考慮して 決定することから削減余地はない。
Ο,	<u>切华</u> 注計Ш	⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務 時間を削減できないか?	 ■ 削減余地がない □ 削減余地がある	高度な測量設計は委託業務を行い、事業遂行 を正規職員で行っているので削減余地はない。
D :	公平性評価	⑥ 受益機会・費用負担の適正化余地・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	■ 公平·公正である □ 見直す必要がある	市道は、不特定の市民が利用することから受益者は特定できない。
	(1)1次評	価者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点	ā)
総括	A 目的妥当 B 有効性 C 効率性 D 公平性	■ 適切 □ 見直す必要がある	この事業は、施策体系に沿って適切に	こ実施されている。
3 €	き後の方向性	<plan></plan>		
		しばん後の士中世	/a\ = / 4.4.5.7. * = 1 = 7 = 4 = 5	· 1

3 フ仮の刀門に	E \ PLAIN /			
(1)評価結果に	もとづく今後の	の方向性	(2)具体的な改善計画	(又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
□ 廃止	[目的妥当	性①②、有効性③の結果]		
□ 休止	[目的妥当	性①②、有効性③の結果]	11 >4 > 11 1 1 1 1 - 11	
□ 有効性改善		[有効性③の結果]		の改修など、まちづくり計画等により市民からの要望が、 こで、事業実施にあたっては、緊急性など優先順位を決
□ 効率性改善	(コスト削減)	[効率性④⑤の結果]	め公正、公平に事業の推進	. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
□ 公平性改善		[公平性⑥の結果]		
■ 現状維持・総	迷続			

				, ,,,	•	717 101 100	 <u> Терн</u>		10 100 000 PH 171	\/ 3			1910
事務事		761	311 事 務	地方道路整	借事	(学(交付全)				担	当	-	建設部
コー	ド	701	事業名	地力追叫走	IMI T	宋(文刊业/				担	当	課	土木課
政策	名	1	快適で魅力	あるまちづくり						グ	ルー	プ	道路整備第1·2G
施策	名	2	交通体系の	充実						電	話番	号	45-5111
基本事	業名	1	道路ネットワ	フークの構築						内	線番	号	2771 • 2774
予算	会計	 ;	般会計										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	幹線市道整備	事	業費	⊐ -	-ド 761311

単位:千円

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)
	通行の安全が図られる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる

番	吸纳力生		 平成22年度		平成23年度	完了	備考
号	路線名等	区分	実績	区分		予定	1佣-6
1	住吉東線		用地補償一式(繰越)		用地補償一式(繰越含む)	H 25	H21→H22:66,009千円 H22→H23:36,221千円 用地補償一式
		隼人	66,009	隼人	126,221		
2	(仮称)新川北線	川北線		継続	(繰)橋梁設計 L=285m	H 32	H22→H23 繰越 82,000千円
		隼人		隼人	82,000		橋梁設計 一式
3	馬立北原線	継続	用地補償一式 (繰)改良工事L=230m		用地補償一式 改良工事 W=10.25mL=210m	H 26	H21→H22 繰越 52,060千円
		溝辺	56,111	溝辺	50,000		改良工事L=230m
4	4 泉水~市後柄線		補償一式		用地補償一式 改良工事 W=7m L=73m	H 26	
		霧島	980	霧島	30,000		
5	宮迫~梅ノ木線	継続	法面工事 L=150m	継続	用地補償一式 法面工事 L=150m	H 23	
		霧島	24,451	霧島	30,000		
6	(維持G) 福島府中線	新規			(繰)道路舗装 一式	H 22	H22→H23 繰越 30,000千円
	HE EU/19 1/0K	国分		国分	30,000		道路舗装 一式
7	(維持G) 宮迫〜梅ノ木線	新規		継続	(繰)道路舗装 一式	H 22	H22→H23 繰越 30,446千円
		霧島		霧島	30,446		道路舗装 一式
8							
\vdash							
9							
H							
10							
\vdash		糾	<u>l </u>	糾	<u>l</u> 		l

継続= 新規= 3 | 継続= 7 新規= 0 <地区別>

	H 22	H 23
国分	1	1
溝辺	1	1
横川		
牧園		
霧島	3	3
隼人	2	2
福山		

く全	体事業	費>	平成22年度決	算(A)	平成23年度	計画(B)	前年度比較(B)-(A)		
事	業	費		147,551		378,667		231,116	
事	務	費						0	
合		計	4路線	147,551	5路線	378,667	1 路線	231,116	

<財源内訳>	平成22年度決算(A)	平成23年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)		
国庫補助金	82,018	208,258	126,240		
県 支 出 金			0		
地 方 債	50,800	123,600	72,800		
そ の 他			0		
一般 財源	14,733	46,809	32,076		
合 計	147,551	378,667	231,116		

(2)事務事業に対する住民意見等

① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか?

② この事務事業に対する議会から出された意見

工、早期完成の要望が寄せられている。

各路線に対して、地元自治会等から道路拡幅および道路新設の早期着住吉東線など本路線の道路拡幅および道路新設の早期着工、早期完成の要 望が寄せられた。

	予事業 一ド 76	事 務 事業名	地方道路整備事業(交付金)			担当部建設部担当課土本課		
2 評	呼価の部 <	(SEE>			評価		評価理由		
A E	目的妥当性		の整合性 目的は基本事業の意図(基 果)に結びつくか?	. -	■ 結びついている 〕見直す必要がある	全快道	事務事業を実施することにより、市民が安 適に移動することができるようになり、市の D「快適で魅力あるまちづくり」に結びつ		
	評価	ないのか?	受当性 なぜ市が行わなければなら して、達成する目的か?		■ 妥当である □ 見直す必要がある		施設の整備は、市の義務であり、幹線道路 備する事は妥当である。		
Вф	与 効性評価	<u> </u>	の成果への影響 廃止又は休止した場合にと があるか?	<i>y</i> -	■影響がある 〕影響がない		が安全快適に移動できなくなり、市の政策 適で魅力あるまちづくり」が実現不可能に		
0 #	ᅭᅓᄲᅙᅼᄺ	④ 事業費の削・仕様や工法 削減できない	の適正化等により事業費を	- -	■ 削減余地がない 引減余地がある	12 - 11 1 1	受階において、工法の詳細検討を実施し りコスト縮減を図っている。		
C x	协率性評 価	・やり方を工具時間を削減で			■ 削減余地がない 引減余地がある	る。ま 業務/	事業に関しては最低限の職員数で担当している。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督業務は勤務時間内で対応することで人件費の抑制を行っている。		
D 2	公平性評価		費用負担の適正化余地 が一部の受益者に偏って ではないか?		■ 公平・公正である 〕見直す必要がある	利用	整備は公共性が高く、不特定多数の人が することから、公平性は保たれる。また、受 負担は求めていない。		
	(1)1次評	平価者(課長)とし	ての評価結果	(2)全	体総括(振り返り	し、反省点)			
総括	A 目的妥品 B 有効性 C 効率性 D 公平性	■適切	□ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある				厳しい財政状況の中、事業を進めている るよう、早期完成を目指して事業を推進		
\vdash									
		生 <plan> :もとづく今後のフ</plan>	上 向州	(2) E	体的な改善計画	(女什處止-母	止すべきとした場合の理由)		
	計[[[[目的妥当性(7 1911年 ①②、有効性③の結果] ①②、有効性③の結果]	(2/長	作りる以出門	(メは廃止・14)	エッ・、ことした場合の年田/		

[有効性③の結果]

[効率性④⑤の結果] [公平性⑥の結果]

□ 有効性改善

□ 公平性改善 ■ 現状維持・継続

□ 効率性改善(コスト削減)

広範囲にわたる事業実施箇所になるが、できるだけ現場に赴き、現地での声を生かし た道路改良事業を実施していく。

													110 10	7771FR	40344	••					
事務事		7612	230 事		抽去生	生宁消	: 快敕:	備事業							担	<u> </u>	当	部	建設部		
コー	ド	7012	-30 事	事業名	プロンノ イヤ	1.化坦	四歪	州尹未							担	<u> </u>	当	課	土木課		
政策	名	1	快遃	で魅力	あるまち	づくり									グ	ル	_	プ	道路整備	第1•	2G
施策	名	2	交通	種体系の	充実										電	話	番	号	45-5111		
基本事	業名	1	道路	§ネットワ	フークのホ	構築									内	線	番	号	2771 • 277	4	
予算	会計	一 护	般会計							·	·										
科目	款	8	土木費	E		項	2	道路橋灣	梁費		目	2	道路	各新設改	(良書	Ì		コー	-F 76	61230	

単位:千円

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)
	通行の安全が図られる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる

			平成22年度		 平成23年度	中フ	
番号	路線名等	区分	実績	区分	十成23年度 計画	完了 予定	備考
7		스기	大根 田地站燈 寸), VE	44.89
1	川跡~松木線	継続	用地補償一式 改良工事 W=16m L=133m	継続	用地補償一式 改良工事L=189m(繰)L=133m	H 26	H22→H23 繰越 21,600千円
Ι'	7 1 100 - 122 NOK	国分		国分		1120	改良工事 一式
2	駅前通り線	新規	用地補償一式	継続	設計委託一式 改良工事 W=20m L=120m	H 24	
1	William Shar	国分	78,149	国分	36,000	11.21	
			·				
3	高千穂~泉水線	継続	設計委託 L=300m	継続	用地補償一式 改良工事 L=120m	H 24	
		霧島	2,835	霧島	17,000	1	
4							
L							
5							
-							
6							
-							
7							
Ι΄		-					
8							
9							
10							
	<地区別>	総	±続= 2 新規= 1 €	総	^{≚続= 3} 新規= 0]	

H 22 H 23 <全体事業費> 平成22年度決算(A) 国分 2 2 事 費 100,345 事

平成23年度計画(B) 前年度比較(B)-(A) 134,600 34,255 務 費 0 計 3路線 100,345 3路線 134,600 34,255

溝辺		
横川		
牧園		
霧島	1	1
隼人		
福山		

]					
<財源内訳>	平成22年度決算(A)	平成23年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)		
国庫補助金			0		
県 支 出 金			0		
地 方 債	76,500	121,100	44,600		
その他			0		
一般財源	23,845	13,500	▲ 10,345		
合 計	100,345	134,600	34,255		

(2)事務事業に対する住民意見等

① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか?

合

② この事務事業に対する議会から出された意見

工、早期完成の要望が寄せられている。

各路線に対して、地元自治会等から道路拡幅および道路新設の早期着川跡~松木線など本路線の道路拡幅および道路新設の早期着工、早期完成 の要望が寄せられた。

	勞事 兼 │	761		争 務	地方特定证	直路整備事	業			担 ヨ 前 建設市		
=	リード	, 017	-30	事業名	ייין וייייי	三叶上加丁	^			担当課土木課		
0 -	证法办书	7 /-6	\FF_					評価		評価理由		
2 .	評価の部		SEE>	-4-71	の動人具			a十1川				
		-	① 奴第	で かんし	の整合性		_	針がついていて		の事務事業を実施することにより、市民が安 ⇒快適に移動することができるようになり、市の		
					的は基本事業					と		
Δ	目的妥当	5性	本シ	ートの結り	果)に結びつく	<i>₫</i> ᠈?		元旦9必安//00/6	ر ا	,		
,	評価		② 公共	・関与の	妥当性					-		
					:ぜ市が行わな	ければなら		妥当である	1	公共施設の整備は、市の義務であり、幹線道路		
			0.	のか?			□ 見直す必要がある			整備する事は妥当である。		
					て、達成する							
		-	③ 廃』	上・休止の)成果への影	響		日 / 伊耳 / ミ上 マ	ı	「民が安全快適に移動できなくなり、市の政策 「 ア		
В	B 有効性語	平価	・事務事業を廃止又は休止した場合にど				■ 影響がめる			「快適で魅力あるまちづくり」が実現不可能に		
			のよ	うな影響か	ぶあるか?			彰音が ない	な	なる。		
			4) 事業	美費の削	減余地							
		İ				トル古光曲ナ	■ 削減余地がない		討	と計段階において、工法の詳細検討を実施し		
				*ペエ伝い できない?	の適正化等に。 か?	より争業質を	□ 削減余地がある			、よりコスト縮減を図っている。		
С	効率性詞	平価	○ 1 从弗(江☆娄敦吐門) ○ 割ば合事									
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地							事業に関しては最低限の職員数で担当している。		
			・やり方を工夫して事務事業に係る業務				■ 削減余地がない □ 削減余地がある			る。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督 業務は勤務時間内で対応することで人件費の		
			時間	を削減で	きないか?		□ 削減未退がめる			兼物は動物時間に入心することで八円負の 抑制を行っている。		
			⑥ 受益	機会・	用負担の適	正化余地			17	5 収載供けい共体が立た 7 歴史夕料の上が		
D	公平性詞	亚価	· 車 i	生の内突 オ	い一部の受益	きに 信って		公平・公正である		直路整備は公共性が高く、不特定多数の人が 川用することから、公平性は保たれる。また、受		
	A 1 III	Т	・事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?					見直す必要がある		者負担は求めていない。		
	1 (4) 4					-	(0) 0 (
					ての評価結り	•	(2)全(本総括(振り返り	人, 人(首点)			
総	A目f	的妥当	性 ▮	■適切	□ 見直す必要	更がある						
	B 有家	协性	- 1	■適切	□ 見直す必要	見がある	厳しい財政	女状況の中、事業の	の進捗に若	干の遅れを感じるが、市民の要望に応えられ		
括	C 効	率性					成というが成れたので、事業の進物に右上の遅れて感じるが、同氏の安全に応えられて るよう、早期完成を目指して事業を推進する。					
,,,	D 公 ³	平性		■適切	□ 見直す必要	草がある						
	2 4	. 14		■ YES A1	26 <u>E</u> 7 20 3	714 W.D.D						
3 4	今後の方	向性	<plai< th=""><th>N></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></plai<>	N>								

た道路改良事業を実施していく。

(2)具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)

広範囲にわたる事業実施箇所になるが、できるだけ現場に赴き、現地での声を生かし

(1)評価結果にもとづく今後の方向性

[目的妥当性①②、有効性③の結果] [目的妥当性①②、有効性③の結果]

□ 効率性改善(コスト削減) [効率性④⑤の結果]

[有効性③の結果]

[公平性⑥の結果]

□ 廃止

□ 休止 □ 有効性改善

□ 公平性改善

■ 現状維持・継続

評価シート

				3 3/3	J. 214 HI		<u> </u>			·/ IJ				1977	•
事務事		761	事 務	道路維持改	白車業					担	当	部	建設部		
	ド	701	当 事業名	但如他可以	以事未					担	当	課	土木課		
政策	名	1	快適で魅力	あるまちづくり						グ	ルー	プ	道路維持	∮グルー	゚゚
施策	名	2	交通体系の	充実						電	話番	号	45-5111		
基本事	業名	1	道路ネットワ	一クの構築						内	線番	号	2761		
予算	会計	一点	股会計												
科目	款	8	土木費	項	2 道路標	喬梁費	目	1	道路橋梁維持	費		_	-ド 70	61111	

単位:千円

③ 対 象	(誰、何を対象にしているの	のか) 4意図	(対象をどうしたい	いのか)	⑤結果	(どんな結果に結びつけるのか)
市民市道			改修や破損の激しい い、移動をしやしくす		安全・快適に移動	動ができる。
		亚战22年	庄	立 成 22 年	F FEF	⇒っ

番	番 路線名等 区分		平成22年度		平成23年度	完了	備考
号	邱砂石寺	区分	実績	区分	計画	予定	1 開
1	道場口~剣之宇都線(2)	新規国分	工事L=353m 14,283			H 22	H21→H22繰越
2	道場口~剣之宇都線(3)	新規国分	工事L=470.8m			H 22	H21→H22繰越
3	梅ケ谷~萩之元線(2)	新規国分	工事L=320m 3,475			H 22	H21→H22繰越
4	梅ケ谷~萩之元線(3	新規国分	工事L=550m 8,400			H 22	H21→H22繰越
5	東郷宮内線	新規集人	工事L=117m 5,408			H 22	H21→H22繰越
6	下井~湊2号線	新規国分	工事L=500m 3,780			H 22	H21→H22繰越
7	上之段~塚脇線	新規国分	工事L=400m 4,095			H 22	H21→H22繰越
8	田方見次線他	新規集人	工事L=80m 3,224			H 22	H21→H22繰越
9	北原石原3号線	新規溝辺	工事L=100m 2,153			H 22	H21→H22繰越
10	桑迫向田線	新規溝辺				H 22	H21→H22繰越
		⊘ Iv	V	4h	⊮ 4 ± — 00 ±C+B — 00		•

継続= 10 新規= 29 新規= 58 継続= 20 <地区別>

	H 22	H 23
国分	14	10
溝辺	6	8
横川	6	5
牧園	11	8
霧島	10	7
隼人	14	7
福山	7	4
合計	68	49

<全体事業費>			平成22年度	決算(A)	平成23年度	[計画(B)	前年度比輔	蛟(B)-(A)
事	業	費		270,563		250,400		▲ 20,163
事	務	費						0
合		計	68路線	270,563	49路線	250,400	▲ 29 路線	▲ 20,163

<貝	オ源内訳>	平成22年度決算(A)	平成23年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)		
国	庫補助金	79,937	82,270	2,333		
県	支 出 金			0		
地	方 債			0		
そ	の他			0		
	般財源	190,626	168,130	▲ 22,496		
合	計	270,563	250,400	▲ 20,163		

(2)事務事業に対する住民意見等

①誰からどんな意見や要望が寄せられているか?

② この事務事業に対する議会から出された意見

自治会や市民から狭小道路の改修、舗装の補修、側溝等の改修などの 特になし 要望がある。

番号	———————————————————— 路線名等		平成22年度		平成23年度	完了	備考
号	四	区分	実績	区分	計画	予定	1佣-/5
11	下植村水窪線	新規	工事L=65m			H 22	H21→H22繰越
		横川	16,450				
12	馬場迫線	新規	工事L=60m			H 22	H21→H22繰越
		横川	3,927			11 22	1181 1188///
12	中野~内之野線	新規	工事L=400m			H 22	H21→H22繰越
13	1.3 -1.1 × 1	牧園	2,268			11 22	1121 71122/未尺型
1.4	東十. 牌城始	新規	工事L=200m			11.00	1101 1100億井倉
14	轟木~健崎線	牧園	2,751			H 22	H21→H22繰越
	16-5-7 66-1-36-1-4-11		工事L=20m 駐車場2000㎡				/F LD
15	塩浸線交差点改良他	牧園	9,029			H 22	H21→H22繰越
			工事L=80m	継続	委託 用地		
16	橋口4号線	霧島	1,922	霧島	1,500	H 25	H21→H22繰越
			工事L=45m	799 江山	1,500		
17	梅ノ木~北永野田線	霧島	1,752			H 22	H21→H22繰越
			·				
18	磯新堀線(1)	新規	工事L=530m			H 22	H21→H22繰越
		福山	4,410				
19	小廻一本松線		工事L=200m			H 22	H21→H22繰越
		隼人	1,659				
20	高日山線		委託			H 22	
		国分	2,940				
21	郡田線		委託			H 22	
		国分	494				
22	参宮線(府中)	継続	工事L=120m	継続	工事L=125m	H 23	
		国分	14,490	国分	12,000		
23	清水7号線	継続	工事L=60m			H 22	
		国分	3,623				
24	敷根18号線	新規	委託 用地			H 22	
	700 PC = - 4 101.	国分	719				
25	国分上井(生活道路)	新規	工事L=68m			H 22	
		国分	2,730			11 22	
26	湊~上小川線	新規	L=160m			H 22	
20	· 大 1770000	国分	2,226			11 22	
27	福島~府中線	新規	委託			H 22	
21	油面 " 小	国分	462			11 44	
00	京に山き口領	継続	用地	継続	工事L=80m	11.05	
Ζŏ	高江山之口線	隼人	2,886	霧島	4,500	H 25	
00	田上始		工事L=90m	継続	工事L=100m	11.00	4+.B30011, 0011
29	里上線	隼人	3,833	隼人	5,000	H 23	H22→H23繰越
2.2	会开 1 四 维	継続	工事L=170m		·	11.00	
30	宮内小田線	霧島	5,171			H 22	
	6 1.76 (H. I.)		委託	継続	工事L=100m		,
31	参宮線(神宮)	霧島	998	隼人	10,000	H 24	H22→H23繰越
		継続	工事L=130m	ナハ	10,000		
32	姫城線	集人	2,363			H 22	
		新規	工事L=20m				
33	嘉例川中道線	集人				H 22	
			3,885 工車I -500m				
34	木之房上野線	新規	工事L=500m			H 22	
		集人	5,928	φηυ τ.π.	7 = 1 = 0		
35	高畑線		工事L=60m		工事L=70m	H 23	H22→H23繰越
		隼人	4,620	隼人	5,000		

番号	路線名等		平成22年度		平成23年度	完了	備考	
号	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	区分	実績	区分	計画	予定	1佣 行	
36	野久美田清水線	継続	工事L=60m	継続	工事L=55m	H 26		
		隼人	4,977	隼人	3,000			
37	高城線	新規	用地補償			H 22		
٠, 	1-1799/104	隼人	4,179			11 22		
30	新川東西線	新規	工事L=154.5m			H 22		
36	利川朱肖冰	隼人	7,510			11 44		
00	1. 汽压组纳	新規	工事L=75m			11.00		
39	小浜馬場線	隼人	2,909			H 22		
	the state of the		工事L=124m			** **		
40	神宮前3号線	霧島	2,919			H 22		
		新規	· ·					
41	久保山大内田線	溝辺	14,318			H 22		
			工事L=100m	幺 火 火 火 火 火 火 火 火	工事L=120m			
42	高速側道山神線	溝辺	2,625	溝辺	4,500	H 24		
			· ·		· ·			
43	宮川内石井口上牟田線	継続		継続	工事L=103m	H 24	H22→H23繰越	
		溝辺	4,883	溝辺	8,500			
44	上床線	新規				H 22		
		溝辺	46					
45	鍋ケ迫崎山線	継続		継続	工事L=620m	H 23	H22→H23繰越	
		横川	2,478	横川	9,000			
46	山ケ野木浦線	新規	工事L=610m			H 22		
		横川	4,200					
47	二牟礼岩穴線	新規	工事L=600m	継続	工事L=300m	H 30		
		横川	6,000	横川	4,000			
48	下植村下新原線	新規	工事L=50m 用地			H 22		
	1 16-14 1 10/10/10/46	横川	3,889					
49	石坂~黒岩線	新規	工事L=15m	継続	工事L=32m	H 23	H22→H23繰越	
43	有效 無相脈	牧園	3,749	牧園	2,300	11 20	1122 1123/18/19	
50	枇杷首線	新規	工事L=86m			H 22		
30	14.11. 日 冰	牧園	1,920			11 44		
	1.豆类	新規	委託 用地			11.00		
51	七又線	牧園	90			H 22		
			工事L=60m			** **		
52	川原〜日の出線	牧園	2,846			H 22		
		継続	工事L=200m	継続	工事L=199m			
53	栗川~八丁線	牧園	1,281	牧園	4,000	H 25	H22→H23繰越	
		新規		継続	工事L=200m			
54	牧園中央線	牧園	上事L-100III 2,846	牧園	工事L-200III 5,000	H 23		
		Î	安全施設	1X图	5,000			
55	牧園中央線(2)					H 22		
 		牧園	1,428					
56	牧園高千穂(生活道路)	新規				H 22		
<u> </u>		牧園	137					
57	中原法ケ崎線	新規				H 22		
<u> </u>		霧島	2,845					
58	川原田~本池線	新規	委託	継続	工事L=45m 補償	H 23	H22→H23繰越 9,000千円	
_		霧島	470	霧島	10,500		2,000 □	
59	泉水永池線	新規	工事L=50m	継続	工事L=80m	H 23		
_		霧島	1,155	霧島	2,500			
60	宮下3号橋	新規	委託			H 22		
Ĺ		霧島	315					

番号	路線名等		平成22年度			完了	備考
号	始 極有守	区分	実績	区分	計画	予定	1佣-5
61	宮迫梅ノ木線	新規	委託			H 22	
		霧島	273				
62	前川内割子田線	新規	工事(A=250㎡) 用地	継続	工事L=30m	H 24	
02	HIJ/III I II III/0%	福山	8,980	福山	11,500	11 24	
	rile de la con	新規	退避場(3箇所) 用地補償	継続	退避場(2箇所)	11.00	H22→H23繰越
63	磯新堀線	福山	4,939	福山	6,300	H 23	3,300千円
			工事L=160m	継続			
64	牧之原十文字線	福山	2,570	福山	2,500	H 23	H22→H23繰越
			工事L=110m		工事L=50m		
65	土地改良区19号	福山	6,825	隼人		H 25	H22→H23繰越
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	华八	5,200		
66	平野線	新規				H 22	
		福山	1,900				
67	湊橋線		工事L=220m			H 22	
		福山	4,116				
68	西牧ノ原団地線	新規	用地			H 22	
		隼人	179				
69	大王~鞍掛線			新規	工事L=40m	H 23	
	24-124			国分	2,300		
70	国分中央(生活道路)			新規	工事L=60m	H 23	
/0	国力下大(工值起码)			国分	1,800	1123	
7.1	月 / 17 17 17 19 19 19 19 19			新規	委託 用地補償	11.05	
/ 1	久保田3号線			国分	3,200	H 25	
	Marie Marie Marie				工事L=40m		
72	岩戸~新町線			国分		H 23	
					道路隅切(2箇所)		
73	湊地区(生活道路)					H 23	
				国分			
74	新川野口線				工事L=170m 委託	H 23	
				隼人			
75	内山田原南線			新規		H 24	
				隼人			
76	高畑中須線				委託	H 25	
				霧島	2,500		
77	馬立北原線(久保山)			新規	委託	H 26	
				溝辺	5,500		
78	馬立北原線(論地)			新規	工事L=40m 委託 用地補償	H 23	
	719			溝辺	2,600	1120	
70	迫玉利線			新規	工事L=20m 委託 用地補償	H 23	
/3	坦 五个小林			溝辺	3,200	11 20	
00	户+本++			新規	工事L=40m 委託 用地補償	11.04	H22→H23繰越
80	向植村線			横川	5,800	H 24	5,000千円
	dil ID -to-ribit			新規	,		
81	牧場~真頭線			横川	8,500	H 23	
				新規			
82	横瀬~荒田橋線			牧園		H 23	
83	七又~浅谷線			新規		H 23	
\vdash				牧園	500		
84	川津原線			新規	工事L=380m 用地補償	H 23	
<u> </u>				牧園	15,500		
85	松瀬~前田線			新規		H 24	
L				霧島	5,000		

番	路線名等		平成22年度		平成23年度	完了	備考
番号	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	区分	実績	区分	計画	予定	1佣-6
86	土地改良区27号線			新規	工事L=90m	H 24	
				福山	3,000		
87	向花~清水線			新規	工事L=250m 委託	H 23	H22→H23繰越
07	1675000			国分	23,350	11 20	1122 1120//
QQ	姫城3号線			新規	工事L=100m	H 23	H22→H23繰越
00	外正 <i>が</i> ぬ <i>3 つ </i>			国分	4,000	11 20	1122 71123/未成
00	国分上之段地区			新規	工事L=50m	H 24	H22→H23繰越
09	国力工之权地区			国分	3,200	11 24	1122 /1123/床皮
00	石原通り線			新規	工事L=110m	H 23	H22→H23繰越
90	47/外地り豚			溝辺	1,700	П 23	日22一7日23形米成
0.1	+1-2564			新規	工事L=140m	11.00	4.4 By 0.01
91	南十三塚原線			溝辺	1,800	H 23	H22→H23繰越
				新規			/F LD
92	西団地・俵ヶ迫線			溝辺	2,600	H 25	H22→H23繰越
	THE COURT OF THE PARTY OF THE P			新規	工事L=60m		
93	横伏敷紫尾田線	<u> </u>		横川	2,500	H 23	H22→H23繰越
M	starta — M			新規			
94	宿窪田線			牧園	5,000	H 23	H22→H23繰越
					安全施設		
95	市内一円			牧園	2,000	H 23	H22→H23繰越
				新規			
96	大丸線			霧島	5,500	H 23	H22→H23繰越
				新規			
97	敷根17号線			国分	2,000	H 23	
				国刀	2,000		
98							
99							
100							
101							
102							
H							
103							
H							
104							
H							
105							
 							
106							
┢							
107							
H							
108							
\vdash							
109							
\vdash							
110							
L							

事務事業コード	761111	事 務 事業名	道路維持改良事業		担 :	当 部 建設部 出木課	
2 評価のき	₹ <sff></sff>			評価		評価理由	

2	評価の部 <	SEE>	評価	評価理由		
A	目的妥当性	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	■ 結びついている □ 見直す必要がある	市道の改修や補修を行うことで、市民が安全・ 快適に移動ができることにつながる。		
	評価	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	■ 妥当である □ 見直す必要がある	市道の改修・補修は、管理者である市の事務で あるので市が行うことが妥当である。		
В	有効性評価	③ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にど のような影響があるか?	■ 影響がある □ 影響がない	市道の改修・補修を廃止・休止することで、市民の安全・快適な通行が図れなくなる。		
	効率性評価	事業費の削減余地・仕様や工法の適正化等により事業費を 削減できないか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	改修や補修の工法は、コスト縮減を考慮して決 定することから削減余地はない。		
	<i>刈</i> 平注計៕	⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務 時間を削減できないか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	高度な測量設計は委託業務を行い、業務遂行 を正規職員で行っているので削減余地はない。		
D	公平性評価	⑥ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?	■ 公平・公正である □ 見直す必要がある	市道は、不特定の市民が利用することから受益者は特定できない。		
	(1)1次評	価者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点	ā)		
終招	B有効性	■ 適切 □ 見直す必要がある	この事業は、施策体系に沿って適切に実施されている。			
3	今後の方向性	<plan></plan>				

3 フ後の方向に	I \ PLAN /			
(1)評価結果に	もとづく今後の	の方向性	(2)具体的な改善計画	(又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
□ 廃止	[目的妥当	性①②、有効性③の結果]		
□ 休止	[目的妥当	性①②、有効性③の結果]	11 - Walter 11 11 1 11 - 11	
□ 有効性改善	į	[有効性③の結果]		の改修など、まちづくり計画等により市民からの要望が、 ・こで、事業実施にあたっては、緊急性など優先順位を決
□ 効率性改善	(コスト削減)	[効率性④⑤の結果]	め公正、公平に事業の推進	. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
□ 公平性改善	į	[公平性⑥の結果]		
■ 現状維持・絲	継続			

評	曲对	家牛	· 医 ·	卢 风	22年度	事 ?	粉 争 来 評	一個 表	<一般用	<u> </u>				様式1
		事第一ド	ŧ	761	112 事	務 道路	各維持管理事業				担担		建設部土木課	
		<u>'</u> 策名		1		魅力あるまな	<u> </u>						道路維持	グループ
		策名		2		系の充実	J - ()					話番号	45-5111	
1		事業	名	1		シトワークの	構築					線 番 号	2761	
	予	ź	計款	一点 8	设会計 土木費	ļ,		事業	□ 単年月				年度~)
	算 科	_	項	2	道路橋	-		期間			夏数年度(~)
	目		目	1		梁維持費		根拠法令•	道路法					
	朗油	二計画	ード	761	.112			条例等	Z.74 [2					
		地		1)를	務事業の	り目的と指標	€ <do></do>							
					の概要)	, H 17—11 1/2		_			平成2	22年度実績	Ę	
霧島市全域の市道の維持管理のため、清掃や修繕・改修を行う事業。 主な業務内容は次のとおり。 ①市道の陥没や側溝閉塞、雑草等により見通しの悪い箇所などを通常巡回や、利用者からの通報 により把握 ②現場状況確認 ③実施要否判断 ・修繕工事・草払い委託・街路樹管理委託 ・街路樹管理委託 ・で成23年度計画														
4 5 6 ×	関係 参繕 ³ 工事 引 日常	施要否判断 3係機関と協議 2番や改修工事・委託の発注 主事委託終了後の検査 常的に住民が使用する生活道路については、清掃等を周辺地域の自治会に協働で行っても でいる。 本版23年度計画 ・修繕工事 ・修繕工事 ・ 章払い委託 ・ 街路樹管理委託												
2	活動	助指	漂 (事	務事	業の活動量	量)			単位		21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (見込)	24年度 (見込)
ア	p 道路補修·側溝修繕箇所数										474	520	530	550
1	イ 藪払い延長							Km	Km 6			800	900	
ゥ														
3	対	象	(誰、 対象	何を なにし	ているのか	4) 対象	指標 ^{(③対象の} 表	大きさを 長す指標)	単位		21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (見込)	24年度 (見込)
ア	市道	1利用	者及で	が周辺	2住民	市内人口			人		127,662	127,512	128,868	129,098
1	霧島	占市内	の市記	首		市内の市	道延長		Km		1,573	1,577	1,580	1,590
ゥ														
(5)	意	図	(対1		したいのか	6 成果	指標 (⑤意図の 達成度	を表す指標)	単位		21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (見込)	24年度 (見込)
ア			全を図 好なね		保たれる。		を繕・改修箇所数/修 された箇所数)	繕・改修が必	%		76	85	85	85
1	,	"				市道利用	者、周辺住民からの詩	苦情件数	件		1,341	1,223	1,300	1,300
ゥ														
T	結	果			:果に けけるのか)	8 上位		:果の達成度 表す指標)	単位		21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (見込)	24年度 (見込)
ア	安全	È•快ì	適に移	動が	できる。	改良率			%		55	55	57	57
1	"					渋滞箇所	数		箇所		9	9	8	8
(2)事	業費				単位∶千円	(3)事務事業の野	環境変化∙住	民意見等					
					22年度 (決算)	23年度 (予算)	① この事務事業 きっかけで開始	は、いつ頃、 _{出されたのか}	どのような ^?		事務事業をは5年前と			
予	当;	初予	算	_	219,622	221,780	昭和27年の道路法 並びに維持管理が				の老朽化と交 等の不具合か			
算	補	正	予算	拿	18,584			.,,.	2 3 1 20	会に。	より地域住民	で行っていけ	こだいていた	変払いが
額	予	算	合 詞	+	238,206	221,780					ない地域が増 、いとの要望も			
	国	庫補	助釒	È	0		③ この事務事業	に対して誰か	いらどんな意		この事務事	業に対す	る議会から	出された
'n		支		È	0		- 見や安望か奇	せられている	57V ?		意見	[ر من المار المن المار المن المن المن المن المن المن المن المن	11.2014
決算額	地	カ		責	0		市道の維持修繕は 域住民にも多大な影	影響があるため		自治	度9月議会で 会で草払いな	どの管理が	困難になっ	ているが、
額	そ	σ,		也	0		対応が求められてい 住民からの苦情や§	要望の内容とし		今後と	どのように考え	えるか」の質	問がなされた	-0
	_	般		京	237,751		い」「側溝改修」「道							
	支	出	合 i	†	237,751									

	務事業 一ド	761112	事務 道事業名	路維持管理	 !事業				担 当 部 建設部 担 当 課 土木課						
				*	± ~~ \	- +	- - ✓ \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	n = 7 Mr \			3.7.				
		単位:千円	単独	뷫22年度 (沒 │ 補助	大 <u>昇)</u> 合計	単独	年度 (当初 補助	リア 算) 合計	単独	24年度 (身 補助	己込 <i>)</i> 合計				
1	報		半红	冊切	口前	半红	作的	口前	半年	冊切	日前				
2	給														
3		手 当 等													
4	共	済 費													
7	賃	金	6,975		6,975	7,197		7,197	7,200		7,200				
8	報	償 費													
9	旅	費													
10	交	際費													
11	需	用 費	124,287		124,287	123,283		123,283	132,500		132,500				
	消	耗 品 費	4,651		4,651	2,300		2,300	2,300		2,300				
	燃	料 費	119		119	204		204	200		200				
	食	料 費													
	ĘŊ	刷製本費													
	光														
	修	繕 料	119,517		119,517	120,779		120,779	130,000		130,000				
12	役	務 費													
		信運搬費													
	広	告 料													
	手	数料													
	保	険 料													
13	委	託 料	95,333		95,333	81,995		81,995	85,000		85,000				
14		及び賃借料	2,415		2,415	2,505		2,505	2,500		2,500				
15		請負費	0.544		0.544	2.000		2.000	F.000		7.000				
16		材料費	8,741		8,741	6,800		6,800	7,000		7,000				
17		財産購入費													
18															
19	扶	補助·交付金 助 費													
21	<u>坏</u> 貸	<u>助</u>													
22		<u>亜_</u> 填及び賠償金													
23		利子・割引料													
24		及び出資金													
25		立 金													
26	寄	 附 金													
27	公	課費													
28	繰	出 金													
		計	237,751		237,751	221,780		221,780	234,200		234,200				
		玉													
		県													
	地	方 債													
財	辺	地債													
源	過	疎 債													
内訳	合	併特例債													
п/ С		9 ///-													
	そ - +	の 他	997.751		007.751	001 700		001.700	004.000		004.000				
	— j	<u>段 財源</u> 計	237,751 237,751		237,751 237,751	221,780 221,780		221,780 221,780	234,200 234,200		234,200 234,200				
		-	201,101		431,131	441,100		441,180	43 4 ,400		434,400				
*	甫助率	国 県													
補	助	<u></u>													
=		切 予 算		210.4	622 千円		平成 22 を	F度 財活内	<u> </u> 訳の「その他	うない					
平成		<u>ツーア 昇</u> E 予 算			584 千円	-+	十八八 22 年	下区 划派门	四人ひという (ひ)他	プロドイント					
	第 1			第5回	201 111	-									
22	第 2		16,400			$\dashv \vdash$	参加費等	の事業実施の	のための収入	説明					
年	第3		10,100	第7回		$\dashv \vdash$				/ 3					
度	第4			第8回	6	2,184	第9回	以降の補正予領 到(3月) ▲1,	异り訳 364千円						
		算合計			8,206 千円										
	-	7 1 II 200,200													

	務事業 コード	761112	事 務 事業名	道路維持	管理事業				<u>担当部</u> 建設部 担当課土大課	
		部 <see></see>		<u>. </u>		評価		評価理由		
		ip へっここと 食体系との密				рт ІЩ			叶顺连 田	
Α	・この (基)	の事務事業の本シートの結果	目的は基本事 果) に結びつぐ		■ 結びつ□ 見直す		-	市道の修に移動が	繕や草払いを行うことで、道路の利用者が安全・快道できる。	
目的妥				ればならない	■ 妥当で		+. 7	市道の維持管理は道路法に基づき管理者である市の責務であり、市道の安全を確保するという点から妥当である。		
当性		金を投入して		的か?	□見直す		<i>න</i> ත			
評	③ 対象	東・意図の妥	当性		■ 適切で	きある		士送かか	△に流行できて Fさに 十てための事業でもり、社会・H	
価	· 対:	象や意図を限	是定又は追加っ	すべきか?	□ 対象を	見直す	必要がある		全に通行できるようにするための事業であり、対象・意 適切である。	
		37 (/2/)	,,e,, 1, -,,e,,,	,	□ 意図を	見直す	必要がある			
В	•成:	艮の向上余り 果指標の現場 せることができ	:値をあるべき	水準まで向	■ 向上命 (十分)	に成果な	が出ている)	草払いの 費の確保	・化により年々修繕の個所が増え、高齢化により市道の要望も増えている。また、修繕料や草払い委託料の組むがある。また、修繕による改善や草払いの仕事ですとは難しい状況である。	
	(E) 内内	L·休止の成	田への影響	B						
有効性	·事	エ・ 	:又は休止した		■ 影響カ				も身近な生活道路である市道の維持管理を廃止・休 とは、円滑な車輌通行の妨げとなり、事故の誘発を招	
評価		以事業との紀			■他に手	段がか			(他に手段がある場合の事務事業名等)	
ТШ				の事務事業以						
	・類 り成)手段はないた 似事業との統 果の向上が期	廃合や連携を 明待できるか?				い 🗌 連携			
C 劾	·成	関 の削減が 果を下げずに (仕様や工法	事業費を削減		■ 削減余				化が進む中、道路の補修や、高齢化による草払いの 々増加している。このような状況では、事業費の削減 い。	
率	_	牛費(延べ業						現在は、直	草払いや修繕については、委託や請負により、市道の	
性				係る業務時間	■削減余	き地がな	い	維持管理	を継続的に行っている。職員は、住民からの苦情・要	
評価		減できないが 果を下げずに		対応や委託を	□ 削減余	≧拙があ	る		・現場での状況判断、また、専門的知識を要する工法 対応する業務が多く、人件費を削減する余地はない。	
	でき	ないか?				(10.000)	<u> </u>	使的など	対応 9 ○未務が多く、 八件賃を削減 9 ○未地はない。	
D 公	9 受益	≟機会・費用	負担の適正	E化余地				住民からの	の苦情・要望は地域によって偏りはあるが、市が行う/	
平	•事	業の内容が一	一部の受益者に	こ偏っていて	■公平・	公正であ	56		なども含めて要否を判断しているため、公平性は保た	
性評		、平ではないな		っているか?	□ 見直す	必要が	ある	れている。 い。	,道路管理は、受益者負担を求める事業には該当した。	
価						(a) A	什 纵托 / 悟	-	= 少上\	
総		欠評価者(課 的妥当性	■ 適切	/評価桁米 □ 見直す必	ル亜がなる	(2)至	体総括(振	ツ巡り、以	人名	
1.0		i的女当任 i効性	■適切	□ 兄直す£		学的で	\	- 七日 <i>354</i>	と人では、京かるにと同さればの声楽でもてので、人が	
括) ※) 注	■適切	□ 兄直すを □ 見直す必			神行官壁に		安全で快適な通行を図るための事業であるので、今後 ばならない。	
10										
		₹平性 	■ 適切	□ 見直す必 ■	少安かめる					
		方向性 <pl Bにもしば/</pl 			•		(0) rin -1 =	7 (4	ᆂᆇᄔᆥᆂᄺᇫᇭᄪᆠ	
(1)	評価結 □ 廃止	果にもとづく -			法性のから	ĿĦヿ	(2)廃止)	くは外圧す	すべきとした場合の理由	
	□ 休山			344567788997899978999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999999<						
		- 内再設定	2,	(,,	1/_				
		統合·連携	= -	「効性⑥の結果						
				「効性④の結果						
				78/14 © 15/14/17 	_					
		性改善		, 下陸) の結果 : 平性(9の結果						
	■現場			場合でも、(3)	具体的な改	善計画				
	-	1	を記載してくた	ださい。 						
(3)	具体的	な改善計画	*	(1)のチェック	7項目に対し	.、具体	的にどのよう	うに取り組む	むのか	
				期待される郊					き具体的な内容	
				による路傍草排 道路維持管理		成23年月	まに引き続き	継続する。		
				理の 管理の方法に						
		路維持検討会								
I					I					

様式4

				3. 3/3	3. 21.	<u>, hi i </u>		<u> </u>		ローリス・スヘット リツ	<u> </u>				1411-4
事務事		761	事務 前213 事務 道路新設改良事業							担	当	部	建設部		
コー	ド	701	事業名 事業名 超超制放战及事業							担	当	課	土木課		
政策	名	1	快適で魅力	あるまちづくり	J						グ	ルー	- プ	道路整備第1	l·2G
施策	名	2	交通体系σ)充実							電	話番	号	45-5111	
基本事	業名	1	道路ネット「	フークの構築							内	線番	号	2771 - 2774	
予算	会計	<u> </u>	般会計												
科目	款	8	土木費	項	2 i	直路橋梁費		目	2	道路新設改良	費			-ド 76121	13

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do> 単位:千円

③ 対 象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)
市民 市道 自動車の利用者・歩行者	通行の安全が図られる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる。

番号	路線名等		平成22年度		平成23年度	完了	備考
号	四水石 寸	区分	実績	区分	計画	予定	NH 73
1	清水~国分線		設計委託 L=90m		改良工事 W=10.5m L=45m	H24	
		国分	483	国分	25,500		
2	府中21号線		用地 一式		改良工事 W=9.75m L=40m	H24	
		国分	10,250	国分	12,600		
3	東郷宮内線		設計委託 L=109m		用地補償 一式 改良工事 歩道W=2.5m L=109m	H24	
		隼人	2,940	隼人	25,600		
4	小浜海岸線		設計委託 L=320m 用地補償 一式	継続	設計委託 L=280m 改良工事 W=5.0m L=125m	H27	
		隼人	4,203	隼人	14,300		
5	大屋敷線		設計委託 L=540m			H25	H23より過疎対策事 業
		福山	5,355				X
6	上小川14号線		用地 一式			H22	
		国分	375,853				
7	天降川東通り線	継続	用地 一式 改良工事 L=140m		改良工事 W=10.25m L=200m	H25	
		国分	23,379	国分	29,000		
8	山下~名波線		改良工事 L=133m		改良工事 W=13.0m L=140m	H24	
		国分	19,005	国分	21,000		
9	宮内山口線	桃稅	以及工事 L=150M	継続	改良工事 W=5.0m L=170m 用地補償 一式	H26	
		隼人	21,834	隼人	22,500		
10	鳥ケ池線	継続	用地補償 一式 改良工事 L=90m	桃木	用地補償 一式	H26	H22→H23繰越 5,700千円
		隼人	430	隼人	13,400		改良工事 L=90m
	<地区別>	総	送続= 14 新規= 1	紭	続= 16 新規= 4		

H 22 H 23 <全体事業費> 平成22年度決算(A) 国分 5 10 事 471,028

平成23年度計画(B) 前年度比較(B)-(A) 317,750 **▲** 153,278 事 務 費 0 合 計 13路線 471,028 20路線 317,750 7 路線 ▲ 153,278

<u></u>	Ŭ	
溝辺		1
横川		
牧園	2	1
霧島		
隼人	6	7
福山	2	1

<則	才源内訳>		平成22年度決算(A)	平成23年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国	庫補助	金	8,977	9,450	473
県	支 出	金	22,500	20,000	▲ 2,500
地	方	債	27,300	167,400	140,100
そ	の	他	0	48,500	48,500
_	般 財	源	412,251	72,400	▲ 339,851
合		計	471,028	317,750	▲ 153,278

(2)事務事業に対する住民意見等

① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか?

② この事務事業に対する議会から出された意見

工、早期完成の要望が寄せられている。

各路線に対して、地元自治会等から道路拡幅および道路新設の早期着山下~名波線など本路線の道路拡幅の早期着工、早期完成の要望が寄せら れた。

番号	路線名等		平成22年度		平成23年度	完了	備考
号	나 아이 그 그	区分	実績 用地補償 一式	区分	計画	予定	H22→H23繰越
11	豊丸線	継続	用地補頂 八	継続	(繰)改良工事L=83m	H22	6,300千円
		隼人	6,600	隼人	6,300		改良工事L=83m
12	長浜中央線	継続	用地 一式			H22	
		隼人	555			1122	
12	塩浸線	新規	補償 一式			H22	
13	金血行文//水	牧園	141			1122	
	- 大海伯	継続		継続	(繰)設計委託 一式	1107	H22→H23繰越 8,100千円
14	宝瀬線	福山		福山	8,100	H27	設計委託 一式 H23より過疎対策事業
		継続		継続	(繰)用地補償 一式		H22→H23繰越 2,250千円
15	落水田~万膳線	牧園		牧園	2,250	H25	用地補償 一式 H23より過疎対策事業
					実施設計 W=9.75m L=300m		1120次/ 過外/ / 水 宇宋
16	鎮守尾~上之原線			国分	8,000	H25	
17	川跡~有下線				実施設計 W=14.0m L=500m	H30	
1				国分	6,500		
18	市公民館前通り線				用地買収 一式	H24	
\vdash				国分	25,000		
19	広瀬~野口線他5路線				建物調査 一式	H25	
<u> </u>				国分	4,000		
20	天降川東通り2号線			継続	改良工事 W=9.25m L=37m	H26	
				国分	32,800		
21	新川上線			新規	実施設計 L=110m 建物調査 1棟	H25	
	7/17 1 = 3//48			隼人	3,700	1120	
22	宮内松山線			継続	改良工事 W=5.0m L=65m	H23	
22	D F 1/12 III/M			隼人	8,500	1123	
00	立岩糸走線			継続	改良工事 W=7.0m L=149m 補償 一式	H24	
23	立石 示定脉			溝辺	111月 八 46,400	H24	
	No. 10 market at 1977-ba			Î	概略設計 N=3箇所		
24	スマートインター可能性調査			国分	2,300	H23	
				<u> </u>	2,000		
25							
26							
27							
28							
\vdash							
29							
<u> </u>							
30							
<u> </u>							
31							
Ĺ							
32							
٠ <u>٠</u>							
22							
33							
٠.							
34							
35							
<u> </u>	1						

事務事業 道路新設改良事業 761213 担 事業名 当 課 土木課 コード 2 評価の部 <SEE> 評価 評価理由 ① 政策体系との整合性 この事業を実施することにより、市民が安全快 ■ 結びついている ・この事業の目的は基本事業の意図(基 適に移動できることにつながる。 □ 見直す必要がある 本シートの結果)に結びつくか? A 目的妥当性 ② 公共関与の妥当性 評価 道路整備は、市の義務であり、通行車輌・歩行 ■ 妥当である この事業をなぜ市が行わなければなら ないのか? 者の安全を確保する観点からも妥当である。 □ 見直す必要がある ・税金を投入して、達成する目的か? ③ 廃止・休止の成果への影響 市民が安全快適に移動できなくなり、市の政策 ■ 影響がある の「快適で魅力あるまちづくり」が実現不可能に B 有効性評価 ・事務事業を廃止又は休止した場合にど □ 影響がない のような影響があるか? ④ 事業費の削減余地 設計段階において、工法の詳細検討を実施し 削減余地がない ・仕様や工法の適正化等により事業費を て、よりコスト縮減を図っている。 □ 削減余地がある 削減できないか? C 効率性評価 ⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 事業に関しては最低限の職員数で担当してい ■ 削減余地がない る。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務 業務は勤務時間内で対応することで人件費の □ 削減余地がある 時間を削減できないか? 抑制を行っている。 ⑥ 受益機会・費用負担の適正化余地 道路整備は公共性が高く、不特定多数の人が ■ 公平・公正である D 公平性評価 利用することから、公平性は保たれる。また、受 ・事業の内容が一部の受益者に偏って □ 見直す必要がある 益者負担は求めていない。 いて不公平ではないか? (1)1次評価者(課長)としての評価結果 (2)全体総括(振り返り、反省点) 総 A 目的妥当性 ■ 適切 □ 見直す必要がある B 有効性 ■ 適切 □ 見直す必要がある 厳しい財政状況の中、事業の進捗に若干の遅れを感じるが、市民の要望に応えられ るよう、早期完成を目指して事業を推進する。 C 効率性 ■ 適切 □ 見直す必要がある 括 D 公平性 ■ 適切 □ 見直す必要がある 3 今後の方向性<PLAN> (2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由) (1)評価結果にもとづく今後の方向性 [目的妥当性①②、有効性③の結果] □ 廃止

た道路改良事業を実施していく。

寭 務

□ 休止

□ 有効性改善

□ 公平性改善

■ 現状維持・継続

□ 効率性改善(コスト削減)

[目的妥当性①②、有効性③の結果]

[有効性③の結果]

[公平性⑥の結果]

「効率性40の結果」

当

広範囲にわたる事業実施箇所になるが、できるだけ現場に赴き、現地での声を生かし

部 建設部

事務事		7612	220	事務切地	h分生活	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						担	当	剖	建設部	部	
	ド	/012	.20	事業名	3对永坦	印正	川 学 未					担	当	詩	土木	果	
政策	名	1	快適で魅力あるまちづくり									グ	ル・	ー ブ	道路	整備第1	•2G
施策	名	2	交	交通体系の充実								電	話者	番 号	45-51	111	
基本事	業名	1	道路ネットワークの構築								内	線音	番 号	2771	2774		
	会計	一舟	投会計	計													
科目	款	8	土木	·費	項	2	道路橋梁費		目	2	道路新設改良	費			ード	761220	0

単位:千円

③ 対 象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)
	通行の安全が図られる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる

番号	路線名等		平成22年度		平成23年度	完了	備考
号	四桃口 守	区分	実績	区分	計画	予定	川つ
1	口輪野~永迫線	継続国分	(繰)橋梁上部工L=51m 取付道路L=270m補償費一式 123,613	継続国分	用地補償 改良工事 W=7m L=200m 30,000	H 26	H21→H22 繰越 83,261千円 橋梁上部工L=51m
2	持松線		改良工事 W=7m L=180m 36,225		改良工事 W=7m L=180m	H 23	
3	真方~臼崎線	継続牧園	改良工事 W=7m L=320m 補償費 一式 31,522	1久園	65,000	H 22	
4	永池~狩川線		設計委託 L=260m 4,760	継続霧島		Н 26	H23は補正予算にて 対応予定
5	狭名田~水流山線	継続霧島	0	継続霧島	用地補償 工事(暫定) W=6.5mL=100m 26,000	H 24	
6	大窪~笹之段線	継続霧島	設計委託 L=60m 3,045	継続霧島	用地補償 委託 改良工事 L=80m 39,000	H 26	
7							
8							
9							
10							
	<地区別>	総	続= 6 新規= 0	総	送続= 5 新規= 0		

H 22 H 23 国分 1 溝辺 横川 牧園 2 1 霧島 3 3 隼人

福山

<全	体事業	費>	平成22年度決	:算(A)	平成23年度	€計画(B)	前年度比輔	蛟(B)-(A)
事	業	費		199,165		160,000		▲ 39,165
事	務	費						0
合		計	5路線	199,165	4路線	160,000	▲ 1 路線	▲ 39,165

<財源内訳>	平成22年度決算(A)	平成23年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国庫補助金			0
県 支 出 金			0
地 方 債	194,200	160,000	▲ 34,200
そ の 他			0
一般財源	4,965		▲ 4,965
合 計	199,165	160,000	▲ 39,165

(2)事務事業に対する住民意見等

① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか?

② この事務事業に対する議会から出された意見

要望が寄せられている。

各路線に対して、地元自治会等から道路拡幅の早期着工、早期完成の「口輪野~永迫線など本路線の道路拡幅の早期着工、早期完成の要望が寄せ られた。

	野業 一ド	761220	事 務事業名	辺地対策道路整備事	 ≨業			担当部建設部担当課土本課
2 1	呼価の部	<see:< th=""><th>></th><th></th><th></th><th>評価</th><th></th><th>評価理由</th></see:<>	>			評価		評価理由
AE	目的妥当 [。]			の整合性 目的は基本事業の意図(基 果)に結びつくか?	. -	■ 結びついている□ 見直す必要がある	全快	事務事業を実施することにより、市民が安 適に移動することができるようになり、市の の「快適で魅力あるまちづくり」に結びつ
	評価	· /-	はいのか?)妥当性 なぜ市が行わなければなら して、達成する目的か?		■ 妥当である □ 見直す必要がある		施設の整備は、市の義務であり、幹線道路 備する事は妥当である。
Вф	有効性評	価・		の成果への影響 廃止又は休止した場合にと があるか?	<i>y</i> -	■ 影響がある 〕影響がない		が安全快適に移動できなくなり、市の政策 3適で魅力あるまちづくり」が実現不可能に
0 #	ᆉᆉ	· 肖	事業費の削 仕様や工法 削減できない	の適正化等により事業費を	- -	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	12 - 1	没階において、工法の詳細検討を実施し りコスト縮減を図っている。
C x	効率性評 [。]	(5)	やり方を工具			■ 削減余地がない □ 削減余地がある	る。ま業務に	に関しては最低限の職員数で担当していた、可能な限り用地交渉、工事管理監督 は勤務時間内で対応することで人件費の を行っている。
D 2	公平性評	価・	事業の内容	費用負担の適正化余地 が一部の受益者に偏って ではないか?		■ 公平・公正である □ 見直す必要がある	利用	整備は公共性が高く、不特定多数の人が することから、公平性は保たれる。また、受 負担は求めていない。
	(1)1%	欠評価者	(課長)とし	ての評価結果	(2)全	≧体総括(振り返り	、反省点)	
総括	A目的 B有効 C効率 D公平	性 性	■ 適切 ■ 適切	□ 見直す必要がある□ 見直す必要がある□ 見直す必要がある		ł政状況の中、事業♀ ₽期完成を目指して₹		遅れを感じるが、市民の要望に応えられ 。
	D公平	1±	■ 適切	□ 見直す必要がある				
3 4	後の方向	向性 <pi< td=""><td>_AN></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></pi<>	_AN>					
			く今後のブ		(2)具	体的な改善計画	(又は廃止・休	止すべきとした場合の理由)
] 廃止] 休止			①②、有効性③の結果] ①②、有効性③の結果]				

[有効性③の結果]

[効率性④⑤の結果] [公平性⑥の結果]

□ 有効性改善

□ 公平性改善 ■ 現状維持・継続

□ 効率性改善(コスト削減)

広範囲にわたる事業実施箇所になるが、できるだけ現場に赴き、現地での声を生かし た道路改良事業を実施していく。

评価対象		半成			務 事	来 評 (四	<一般用	>	11-	VI, 4-	7.h. = 11 1-11	様式1
事務語		761	410 事	፮ 務	維持管理	事業				担担		建設部土木課	
 		1		で魅力あるま	たづくり							河川港湾	ゲループ
施策		4		対策の推進	9 219						話番号		
基本事		2		直険箇所の整	·····································						線番号		
	会計		投会計	3/VEI//1 > 11	- VIII			□単年月	きのみ		1/1/ Щ 3	2.01(2	
予	款	8	土木掌	<u>+</u>			事業			医(開始年度	₹ H 19	年度~)
算	項	3	河川				期間	□期間	限定複	夏数年度(~)
科 目	目	1	河川管	管理費		村	艮拠法令•						
	コード	761	410				条例等						
関連語	計画					•							
. 現状	把握	(1)耳	務事業 (の目的と指標	₹ <do></do>	>							
① 手 !	设 (事務	事業	の概要)							平成2	22年度実績	Ę	
用河川6		通河	川99本)	下流に流す の堤防陥没・					主な活	既設護岸や行った。(寄		事等4箇所繰	
									動	既設護岸や行う。		•	・修繕等を
2 活動	指標(事	事務事	業の活動	量)				単位		21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (見込)	24年度
ア								箇所		4	4	0	(96,617
1													
ゥ 3 対		、何を	ているのか	(4) 対象	.指標	③対象の大き	きさを ⁻ 指標)	単位		21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (見込)	24年度
* 維持神		J	4. 9	,	の必要な河		1日1示/	箇所		(美碩)	11	10	1(
1													
ל													
5) 意	図(対	象を どう	したいのか	。) ⑥ 成果	:指標	う意図の 達成度を表	表す指標)	単位		21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (見込)	24年度 (見込)
安全をように		快適な	生活ができ	きる 対応率(値 箇所数)	修繕箇所/修	繕が必要と	判断された	%		67	100	100	100
1													
^ラ 結		んな結		8 F位	成果指標		の達成度	単位		21年度	22年度	23年度	24年度
	生が確保		けけるのか	危険箇所	数に対する	整備済箇所	す指標) 数の割合	%		(実績)	(実績) 31.1	(見込) 32.5	(見込) 33.(
1				=上事進	捗率(砂防関	自保)		, ,					
2)事業	費			 単位∶千円		事業の環境						l	<u> </u>
			22年度 (決算)	23年度 (予算)	① この事 ① きっか	事務事業は いけで開始さ	、いつ頃、 されたのか	どのような ?		事務事業をは5年前と			
当初] 予 算:		3,505		公共土木	施設災害復	旧事業に該	当しない小	豪雨、	台風等により	の被害状況は	は異なるが、	局部的な
予 ^{二 17}	E 予:	算	0					推持補修およ 保を図る目的		豪雨などが発 こより小規模フ			
百	章 合	_	3,505			年度より開始				が増える傾向!			
国庫	補助:	金	1,800]	。 この事	露務事業に	対して誰か	らどんな意		この事務事	業に対す	る議会から	出された
		金	0		③見や要	要望が寄せ	られている	か?		意見	本(〜^) ブ	の政女がら	ш С10/С
夬 地	方	債	0	1	市民から、	被災箇所を	小規模な被	災の段階で	住民の	り生活に密接	会に関係して	いるため、早	早めの対応

算者 他 0 の 般 財源 1,666 出合 計 3,466

復旧し、被災箇所の拡大及び二次災害の防止 を図るために、早急な整備が求められている。

事剂	务事業 一ド	761410	事務河	維持管	理事業				担 当 部 担 当 課		
	•			22年度		 初予算)		24年度 (見	入)		
		単位∶千円	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報	州西									
2	給	料									
3		手当等									
4	共	済費									
7	賃 報	金 償 費									
9	 旅					5		5			
10	交							0			
11	需	用費				2,000		2,000			
	消	耗 品 費									
	燃	料 費									
	食	料費									
		刷製本費									
		熱水費									
	修	繕 料				2,000		2,000			
12	役	務 費									
'2											
	広	告 料									
	手	数料									
	保	険 料									
13	委	託 料	1,491		1,491	500		500			
14		及び賃借料	1,975		1,975	1,000		1,000			
15		請負費									
16		材料費									
17 18		財産購入費									
19		· 補助・交付金									
20	扶	助費									
21	貸	付 金									
22		填及び賠償金									
23		利子・割引料									
24		及び出資金									
25 26	寄	立 金 附 金									
27	可 公										
28	 繰	出金									
		計	3,466		3,466	3,505		3,505			
		围	1,800		1,800						
		県									
	地	方 債									
財	辺 過										
源内		疎債併 特 例 債									
訳		NI ITI IVI 民									
	そ	の他									
		投 財 源	1,666		1,666	3,505		3,505			
		計	3,466		3,466	3,505		3,505			
*	補助率	国]
補		県 基本額									
=		型 本 領 初 予 算			3,505 千円		亚战 22	年度 財源内	記の「その4	この内部	
平成		<u>ツーア 昇</u> E 予 算			o,000 门	$\dashv \vdash$	一八八 22	十皮 别你的	かくひとして ひり担	ノロアリン	
	第1			第5回							
22	第2			第6回			参加費等	の事業実施の	のための収え	人説明	
年	第3			第7回							
度	第4			第8回							
	予:	算 合 計			3,505 千円						

	務事業 コード	761410	事 務 事業名	河川維持	管理事業						建設部 土木課
2	評価の4	部 <see></see>		<u>. </u>		評価			Į.	評価理由	
		ip へっここと 食体系との割				н і іш		河川17-1	添の水が声のた		
A	・この (基)	の事務事業の本シートの結	目的は基本事 果) に結びつ<		■ 結びつ□ 見直す		-	浸食等の小		fの修繕・補修る	必要があることから、堤防陥没・ を行うことは、防災対策の推進 ドつく。
目的		共関与の妥		10 124×2 4×1 ×	■ロツァ	:+ 7		市は、公共	共施設の維持管	管理を行う義	務があり、堤防陥没・浸食
妥	のか	3.	市が行わなけ		■ 妥当で		± Z				することで、防災対策の推 は妥当である。
当性		金を投入して. 象・意図の妥	、達成する目的	的か?	□ 児世9		<i>හ</i> ත	E(C)/s/	7.21Co)(1)1/0.	- M - 1 - 1 - 2 - C	(は女 m くながる。
評	(3) XI s	*・息凶の女	:31±				ひあぶもて				所を整備することで、大規
価	·対	象や意図を限	是定又は追加っ	ナベきか?			必要がある	楔な災害		ることから、現	状の対象・意図を見直す
		果の向上余5	Hh		□ 意図を	見旦す!	必要がある	1日 7十7万 シル	ヨゑ炊の姉の	(()	模な段階で最小必要限度
В	・成: 上さ	果指標の現状	犬値をあるべき きるか?		■ 向上命 (十分) □ 向上命	こ成果が	が出ている)	の範囲で に寄与し 老朽化や	補修・修繕を行ている。しかした	テっている。こ ながら、豪雨等 る施設の維持	機は段階で最小必要板及れらは、防災対策の推進 等による堆積土砂の除去、 F管理については、継続的
有	⑤ 廃」	上·休止の成	は果への影響	B				河川県防	の陥没•沖壊ナ	などの被災策	所において、修繕・補修を
効 性		務事業を廃止 な影響があるが	:又は休止した か?	出合にどの	影響カ影響カ				上することは二		ぶり、冠水・浸水被害などを
評価			充廃合・連携		■ 他に手	段がなり	۱,		(他に	手段がある場	合の事務事業名等)
		的を達成する)手段はないた	ためには、この か?	り事務事業以	□ 他に手	段があ	న				
	り成	果の向上が期	廃合や連携を 明待できるか?		□ 統1		い 🗌 連携				
С		集費の削減 3 果を下げずに	余地 事業費を削漏	成できない	■ 削減余	: 地がな!	LN	 最小必要	限度内での修	繕や補修では	あるため、事業費の削減余
**			長の適正化、住		□削減余			地はない。			
効率		牛費(延べ業	務時間)の	削減余地							
性		り方を工夫して 減できないか		係る業務時間	■ 削減余	地がな	い				は、職員が担当することにできない業務となるため
評価			* : -職員以外の対	対応や委託を	□ 削減余	地があ	る	削減はで		**/ 4 0/ 4 NJ //L	Ceral American
D		ないか? ************************************	負担の適正	-/L Δ JJh							
公平			-部の受益者に		■公平・	公正であ	5 5	/ 公共施設	(河川)の整備	であり、受益	者が特定できないし一部
· 性 評	不么	く平ではないな	32 ?		□ 見直す	必要が	ある		限られるもので		p., 17,2 12 51. 1
価			と平公正になっ		_ ,,_,				- da = \		
総			長)としての 適切		/ 亜 が セ フ	(2)至	体総括(振	り返り、反	(省点)		
11/10		l的妥当性 ī効性	■適切	□ 見直す必□ 見直す必							
括		ョ <i>の</i> に か率性	■適切	□ 兄直す必□ 見直す必		この事	業は、政策	体系に沿っ	て適切に実施	されている。	
10		→ 14 \平性	■適切	□ 児直すを□ 見直す必							
3		、)に 方向性 <pl< th=""><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></pl<>									
			(今後の方向	性	7		(2)廃止3	又は休止す	すべきとしたち	易合の理由	
	□ 廃业	Ė	[目的妥	当性①②、有							
						[果]					
		的再設定 €統合•連携		的妥当性①③ 効性⑥の結果							
	_ : :			'効性④の結果	-						
	□ 効率	医性改善(コス	ト削減) [効	率性⑦⑧の絹	果]						
	_	性改善	_	:平性⑨の結果	_	** - 1 1					
	■ 現物		現状維持の境を記載してくた	易合でも、(3)」 ごさい。	具体的な改	善計画					
(3)	旦体的	な改善計画	i %	(1)のチェック	7項目に対し	具体	的にどのよう	うに取り組む	たのか		
				期待されるタ					。 き具体的なP	内容	
				堤防の陥没・ 度も管理河川の							河床低下等が見受けられ 、災害の軽減・未然防止を
				・未然防止を図			十及も官生	付けてファビか	7日年で住口3	全主に対処し	、火音の軽減・木糸別止を
1					I						

評価を	対象年度	平月	成 22年度	事	務事業評	価 表	<一般用	>				様式1
•	務事業	7	761412 事	務県	单急傾斜崩壊対策	等業			担		建設部	
	コード <u></u> 女策名	1	/01412 事業 快適で駅	尾名 速力あるます	たべくり				担	当 ループ	土木課河川港湾	ゲループ
_	を 主策名	_		<u> </u>	6,77,0					話番号	們川後傳第 45-5111	
	事業名	2		険箇所の整	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					線番号	2781, 2	
	会計		一般会計				□単年月	隻のみ			•	
予	款	8	土木費			一 事業 _ 期間	■ 単年月	度繰返	医(開始年度	€ S 63	年度~)
算 科	項	3	3 河川費			- 2011bl	□期間	限定複	夏数年度(~)
科 目			l 河川管理	理費		根拠法令・	鹿児島県県	É急碩·	斜地崩壊対領	策事業補助	金要綱	
88	ᆂ린표	<u> </u>	761412			条例等	20,20,010,10		3 1 2 2 3 3 3 4 3 4 3 4 3	10 3 310 1113-30		
	連計画	(1	/ 主羽主巻の									
	状把握)事務事業の	日的と指標	₹ <do></do>				平成2	2年度実績	E	
			業の概要)			for all to be a second				地区 法面〕		
	地崩壊危 策工事を			砂災害から	住民の生命・財産の)保護を図るたる	り、防災工事な					
	料度30度り 5m以上	以上						主な	溝辺・宮川に		面工 方護柵工	
3. 人》		(5戸	未満でも、官公	署、災害時	要援護者関連施設、	、学校、旅館等の	のある箇所を含	な活	亚击			
む)								動	国分・山元は		Ξ.	
										戸地区 法记 内6地区 法		
									竹山:霧島·床浪」	地区 法面	ĵΙ	
									後谷:	地区 法面	iエ	
② 7	動指標	(事務	8事業の活動量)			単位		21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (見込)	24年度 (見込)
r I	事箇所数						箇所		2	2	6	5
1												
ゥ												
3 🛪		誰、何 対象に	可を こしているのか)	④ 対象		の大きさを 表す指標)	単位		21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (見込)	24年度 (見込)
	傾斜地危 住民) 険箇	所の防護区域内	世帯数			戸		3,699	3,699	3,699	3,699
1				危険箇所	 数		箇所		633	633	633	633
ゥ												
⑤ 意		対象		⑥ 成果	.指標 (⑤意図の		単位		21年度	22年度	23年度	24年度
			どうしたいのか) その生命、財産を		達成点数に対する整備済能	度を表す指標)	0/		(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
守守	3			工事進捗			%		31.5	32.0	32.5	33.0
1												
ゥ												
⑦ 紀	手		な結果に	8 上位		結果の達成度	単位		21年度	22年度	23年度	24年度
	全性が確何		び付けるのか)	危険箇所	数に対する整備済質	を表す指標)	%		(実績)	(実績)	(見込) 32.5	(見込)
	土口エル・作用	本で4	(v2)	=工事進	捗率(砂防関係)		/0		31.1	31.1	32.0	33.0
1	- 44 dd			¥4		7914 - 1 11. <i>1</i> 2	口充日体					
(2)号	業費		22年度	単位:千円	(3)事務事業の			_	事務事業を	取り巻く瑨	培什 盟始	ム時期マ
			(決算)	23年度 (予算)	① きっかけで開	始されたのか	19		は5年前と			
予当	初予算	額	20,500		急傾斜地崩壊危陷斜地崩壊対策事				助金が年々締 要するようにな		り、工事完成	戊までに期
算補	正予	算	12,000		地区で、土砂災害	から住民の安全	全確保を図る	旧,⊂ ≥	Z 9 'DA / 15/3			
額予	・ 算 合	計	32,500	0	ため、昭和63年かある。	いら事業導入を行	テったもので					
Ī]庫補助	h 소	0			⊬	. > 10 / 4. =		- o = *-	الدريالد	7 = \	1112-1-1
県			16,250		③ 見や要望が	とい対して誰か 寄せられている	いらとんな意 るか?		この事務事 意見	美に対する	る議会から	出された
決地		 債	0		住民からは、早期				の生命・財産			
算を		他	0		特に昨年の豪雨にめ、要望箇所も増	こより、被災箇所 加した。	「が増えたた	要望憶	箇所への早め	の事業導入	、が求められ	ている。
	·般財		16,250									
支			32,500									
^		н	52,500		I							

事剂	条事業 一ド	761412	事 務 事業名	県単急傾斜崩	 懐対策事業				担当部担当課		
	•			·成22年度 (決	1笛)	亚 战	23年度 (当初	子 質)		<u>エペペー</u> 224年度(§	327)
		単位:千円	単独	補助	合計	干风2 単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報	<u> </u>	— A	Imag	нн	— — — —	Im-93	ни	+27	Impj	нні
2	給	料									
3		. 手 当 等									
4	共	済費									
7	 賃	金									
8	報		1								
9	旅	費									
10	交	際費									
11	需	用費									
	消	耗 品 費									
	燃	料 費									
	食	料 費									
		刷製本費									
		熱水費									
	修	繕 料									
	/5	7h	ļ								
12	役	務費									
		信運搬費									
	広	告 料									
	手保	数 料 険 料									
13	 委	<u>陕料</u> 託料		3,000	3,000		7,000	7,000			
14				3,000	3,000		7,000	7,000			
15		請負費		29,500	29,500		47,000	47,000			
16		材料費		23,000	23,000		11,000	11,000			
17		財産購入費									
18		購入費									
19		補助•交付金									
20	扶	助 費									
21	貸	付 金									
22	補償補	填及び賠償金									
23		利子•割引料									
24		及び出資金									
25	積	立 金									
26	寄	附 金									
27	公	課費									
28	繰	出 金計		32,500	32,500		54,000	54,000			
		国		32,300	32,300		34,000	34,000			
		<u>=</u> 県		16,250	16,250		27,000	27,000			
	地	方 債		10,200	10,200		21,000	21,000			
R-I	辺										
財源	過										
内	合	併特例債									
訳											
	そ	の他									
	— H	段 財源		16,250	16,250		27,000	27,000			
		計		32,500	32,500		54,000	54,000			
*	甫助率	国	ļ								
補		県 基 本 額									
				00.5	00 I.M		ㅠct oo ケ	弗 明海土	コの「フの"	h.	
平		初 予 算正 予 算	-		00 千円 00 千円	 -	平成 22 年	艮 以源闪	訳の「その他	がることに	
成	第 1			第5回	00 I⁻Ħ						
22	第2			第6回			参加费笙/)	のための収え	入設田	
年	第3				.2月) 15	,000	ジル貝ザリ	/ 尹 木 大 心 '	·//_U/U/U/U/	ヽロルヴ フ	
度	第 4					,000					
	予 :				2,500 千円	,,,,,,					
	1 -	, H III		0,	-,000 1						

	務事業 コード	761412	事 務 事業名	県単急傾	斜崩壊対	策事業					部建		
2	評価の	部 <see></see>				評価				評価理	由		
		表体系との整				- · · · ·		急傾斜地	の崩壊の巩ゎ			適所における土砂災害	
Α	・こ ⁽	の事務事業の 本シートの結!	目的は基本事果)に結びつく	「業の意図」 「か?	■ 結びつ□ 見直す	いている ⁻ 必要があ	る	から、市民		を守ること	は市の	の役割であり、防災対策	
目的妥	・このか	•	市が行わなけ:		■ 妥当で	: ある - 必要があ	z	から住民の		を守るため		所において、土砂災害 工事を行うことは、市の	
当性		金を投入して、		内か?			<i>a</i>	42177 (07)	7X 1 E.7 67	20			
評価		象・意図の妥 象や意図を限		トベきか?		見直す必		民の生命		とになり、		ことは、土砂災害から市が確保されることから、	
-		果の向上余均	ملا		意図を	見直す必	要かある						
В	•成	果指標の現状 できることができ	は値をあるべき	水準まで向					の崩壊箇所の 少し安全性の			ことで、急傾斜地危険	
1_	⑤ 廃」	止・休止の成	果への影響					A ME MILITA	о U I д. 17.110. М	ヤコウェエギルク	, , — —)	
有効性評	・事 よう	務事業を廃止な影響があるな	又は休止したか?	場合にどの	■ 影響か □ 影響か			止するとり	炎害危険箇所 図れなくなる。	の整備が	なされた	しているため、廃止・休 よいことになり、安全性	
価		以事業との制 的を達成する			□ 他に手	段がない			\\\	手段がある 業等(林務	2	り事務事業名等) 果)	
	•類)手段はないか 似事業との統 :果の向上が期	廃合や連携を			-段がある 合できない 合できる	■ 連携		採択基準や	事業の目	的が違	うため連携できない。	
C	·成 か?	業費の削減 果を下げずに ・(仕様や工法	事業費を削減		■ 削減命	き地がない き地がある						は難しいが、箇所ごとに の検討を行う必要があ	
効率	ど) 8 人4	牛費(延べ業		訓滅余地									
性評価	・や を削 ・成	り方を工夫して り減できないか 果を下げずに ないか?	で事務事業にい?	系る業務時間	■削減余□削減余			用地無償譲渡に向けた地権者との交渉や工事費積算・現 導を職員が担当することになる。これらは、市職員でなけれ 応できない業務となるため、削減はできない。					
D 公	9 受	益機会・費用	負担の適正	化余地			ĺ		i箇所の住民が受益対象となるため、受益者負担の是非の ネが必要かもしれない。しかしながら、市内には危険箇所も				
公平性評価	不么	業の内容が一 公平ではないか 益者負担が公	3.5			公正である ⁻ 必要があ	多く、県営とになるが	事業の採択基	基準に該当 こは受益者	当しない 負担金	、箇所を本事業で行うこ ≧が伴わないことから、		
	(1)12	欠評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全体	総括(振	長り返り、反省点)					
総	ΑE	的妥当性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある								
	B∤	剪効性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある	➤の車器	14 坛年1	トブルツー	で済知に守ち	ことかってい	Z.		
括	C 交	协率性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある	この事果	いよ、旭東平	4米に行つ	て適切に実施	EG41 CV 14	ಎ.		
	D 2	∖平性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある								
3 -	今後のこ	方向性 <pl< th=""><th>AN></th><th>_</th><th>Į.</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></pl<>	AN>	_	Į.								
_		果にもとづく		性		(:	2)廃止又	は休止す	「べきとした :	場合の理	曲		
	□ 廃」	Ł	[目的妥	当性①②、有	効性⑤の絹	吉果]							
	□ 休』	Ł		·当性①②、有		吉果]							
		的再設定 * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	= -	的妥当性①③									
		ξ統合・連携 *₩₩₩₩	=	効性⑥の結果	_								
		効性改善(成果 ※性改善(コス		郊性④の結果 率性⑦⑧の絹	_								
		F性改善(コヘ F性改善		平性のの結果									
	_	ˈ┴�� b 犬維持・継続「	_		_	善計画							
			を記載してくた										
(3)	具体的	な改善計画	*	(1)のチェック	7項目に対し	、具体的	にどのよう	に取り組む	じのか				
		年度の取組の							き具体的な				
特に その	平成22 ⁴ 中でも緊	独傾斜地の崩り 年度においては 《急を要する4 備し、住民の生	は豪雨による 箇所の危険饚	疲災箇所が多 i所と、継続箇	くあり、 所であ	成23年度)	に引き続き	、危険箇所	斤の整備を行い	い、住民の	生命・	財産の保全を図る。	

	多 下	<u> </u>	194, LL	一汉		Ŧ171 Ŧ *		4 11	<u> </u>	用"政佣	進ル	1. 但此	Œ	胂刀 。	_	1	水上し
事務		761	414	事務	松	合治水対策事	業						担	当		建設部	
⊐-	-ド	701	717	事業名	IJACS	口加小八米子	~						担	当	課	土木課	
政策	名	1	快	適で魅力	あるる	きちづくり							グ	ルー	プ	河川港湾グル	レープ
施策	名	4	防:	災対策の	推進								電	話 番	号	45-5111	
基本事	業名	6	治	水対策σ	推進								内	線番	号	2781、2782	
	会計	<u></u>	般会計	+					事業	平成	16	年度	~	平成		年度	
予	款	8	土	木費					期間	十八	10	十尺		一灰		十尺	
算 科	項	3	河	川費					HHM 사 스								
目	目	1	河	川管理費	,				根拠法令• 条例等								
	コード	76	1414						N(1/ 1 / 1								
関連語	計画					_			_								

① 事業開始の理由及び事業の概要

国分市街地及び国分、隼人地区の天降川流域周辺部で、豪雨時に発生してい る床上・床下浸水並びに道路が冠水するなどの被害を低減するために、排水施 設の新設・改良、貯留施設の整備などによる対策工事を行うものである。 平成16年度は、国分地区の基本構想および基本計画の作成、17年度~20年 度にかけて国分中央ブロックの実施計画、測量調査、基本設計及び一部の実 施設計を行っている。隼人地区については、18年度~20年度にかけて基本計

画、実施計画、基本設計を作成済みである。 平成22年度までに国分の府中地区や中央四丁目付近の排水路の改良工事が 完了している。平成23年度以降は、国分中央ブロック、隼人の東郷及び姫城の 排水施設の詳細設計や排水施設の整備に着手する予定である。

② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記) 住民より早急な浸水解消の要望が寄せ 早急な実施を望む意見が多い。

 ③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)
 ④ 意 図 (対象をどうしたいのか)
 ⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)

 ア 浸水被害を受けると予想される住民と地域
 豪雨時における浸水被害の低減が図られる
 水害の被害が軽減される

イ 治水対策が必要な箇所

全体計画	平成21年度までの実施状況	平成22年度	平成23年度
(H 16 ~)		実績	計画
世帯数 1,579世帯 整備計画箇所 5箇所 要整備延長(L=2,920m)	府中地区排水路改良工事	H21繰越 事業費C=33,667千円中央四丁目排水路改良工事L=198m(W=1.00m)排水路実施設計(府中地区)排水路実施設計(東郷地区)排水路実施設計(姫城地区)	排水機場実施設計(奈良田地区) 地質調査(奈良田地区) 排水機場実施設計(姫城地区) 地質調査(姫城地区)
平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度以降
計画	計画	計画	計画
排水機場実施設計(東郷地区) 地質調查(東郷地区) 用地補償 排水機場整備工事(奈良田) 排水路整備工事(奈良田) 排水路整備工事(姫城) 用地補償	排水路整備工事(姫城)	排水機場整備工事(奈良田) 排水機場整備工事(東郷) 排水路整備工事(東郷) 排水機場整備工事(姫城) 排水路整備工事(姫城)	排水機場整備工事(東郷) 排水路整備工事(東郷) 排水機場整備工事(姫城) 排水路整備工事(姫城) 排水路実施設計(中央四丁目) 排水路整備工事(中央四丁目)

(2)事業費

単位: 千円

			平位: 下门
	全体計画		
(H 16 ~)	
	単独	補助	合計
国		57,800	57,800
県			
地 方 債	1,584,000		
辺 地 債			
過 疎 債			
合 併 特 例 債			
	1,584,000		1,584,000
その他	51,500		51,500
一般財源	282,648	25,518	308,166
計	1,918,148	83,318	2,001,466

			単化	立:千円
	H 22年度	H 23年度	前年度	比較
	決算 (A)	計画 (B)	(B)-((A)
当初予算額	31,200	60,000	28,800	92% 増
補正予算額				
予 算 合 計	31,200	60,000	28,800	92% 増
国庫補助金				
県 支 出 金				
地 方 債				
その他		51,500	51,500	増
一般財源	29,295	8,500	▲ 20,795	71% 減
支 出 合 計	29,295	60,000	30,705	105% 増
支 出 合 計	29,295	60,000	30,705	105%

	単	位:千円	9	事務事コード			· 務 業名	※ 一 終 合 治 水 切 市 基 美						担 当 部 建設部 担 当 課 土木課		
	×	5 分		(全体計画 (H 16 ~)			平成21年度までの 実施状況			平成22年度 (実績)			平成23年度 (計画)		
		業内容 業 量		世帯数 1,5 整備計画箇要整備延長	79世帯 所 5箇所	·	総総設府 L中総合	実施状況 総合治水対策事業基本計画策員 総合治水対策事業実施計画策員 総合治水対策東郷・姫城基本測 設計 府中地区排水路改良工事 L=250.3m 中央四丁目地区水路詳細設計 総合治水事業河川事前協議資料 作成			H21繰越 事業費C=33,667千円 中央四丁目排水路改良工事 L=198m(W=1.00m) 排水路実施設計(府中地区) 排水路実施設計(東郷地区) 排水路実施設計(姫城地区)			排水機場実施設計(奈良田地区) 地質調查(奈良田地区) 排水機場実施設計(姫城地区) 地質調查(姫城地区)		
				単独	補助	合計	単	独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報	ł	舾	1 ,55	1115-23		Ċ	,	1113-23		1,22	118-23		, ,	1113-23	
2	給		料													
3	墹	↓員手当 : 済	費													
7	賃		金													
8	報	貨	費													
9	旅		費													
10 11	交需		費費													
' '		消耗品														
	H	燃料	費													
	- 1		費													
	- 1	印刷製本														
	- 1	光熱水	費料													
	ŀ		ተተ													
12	役	務	費													
	- 1	通信運搬														
	H	広告	料													
	H	手数 保険	料料													
13	委		料	151,148		151,148	3 23	3,853		23,853	29,295		29,295	60,000		60,000
14	使	用料及び賃付	借料													
15		事請負		1,603,000	83,318	1,686,318	15	5,000	83,318	98,318						
16		▼ 材料 有財産購力		145.000		145.000										
17 18		品購入		145,000		145,000										
19		担金補助・交														
20	扶		費													
21	貸		金	40.000		40.000										
22		(遺補填及び賠 ・ 選金利子・割)		19,000		19,000)									
24		資及び出資														
25	積	立	金													
26	寄		金													
27	公經		費金													
26	形	計	亚	1,918,148	83,318	2,001,466	38	3,853	83,318	122,171	29,295		29,295	60,000		60,000
П		围			57,800		_		57,800	57,800						
		県														
	地		債	1,584,000		1,584,000)									
財源	H		債債													
内	H	合併特例														
訳				1,584,000		1,584,000										
	そ		他	51,500		51,500	_							51,500		51,500
	_	- 般 財 計	源	282,648 1,918,148	25,518		_	8,853	25,518	64,371 122,171	29,295		29,295	8,500		8,500 60,000
		. I	E	1,710,148	83,318	2,001,466	36	3,853	83,318	144,171	29,295		29,295	60,000		00,000
補	助	率														
補	助	基本														
							_									

平成22年度予算の状況 <補正予算内訳>

当初予算	31,200
補正予算	
合 計	31,200

<補正予算内	記>			単位:千円
第1回	第4回		第7回	
第2回	第5回		第8回	
第3回	第6回			

	単位:千円	事務事業コード	761414		務 総	合治水対策	事業				担 当 部担 当 課	建設部 土木課	
		21/	成24年度		平成25年度				平成26年原	平成27年度以降			
	区分	'	(計画)			(計画)	~	(計画)			(計画)		
	事業内容事業量	排水機場実施設計(東郷地区) 排水機場実施設計(東郷地区) 用地補償 排水機場整備工事(奈良田) 排水路整備工事(奈良田) 排水路整備工事(姫城) 用地補償			排水機場整備工事(奈良田) 排水路整備工事(奈良田) 排水路整備工事(姫城) 用地補償			(計画) 排水機場整備工事(奈良田) 排水機場整備工事(東郷) 排水路整備工事(東郷) 排水路整備工事(姫城) 排水路整備工事(姫城)			(計画) 排水機場整備工事(東郷) 排水路整備工事(東郷) 排水機場整備工事(姫城) 排水路整備工事(姫城) 排水路整備工事(姫城) 排水路整備工事(中央四丁目) 排水路整備工事(中央四丁目)		
		単独	補助	스타	単独	補助	△≒	単独	補助	스크	単独	補助	스타
1	報 酬	半生	イ用・リリ	合計	中 生	作用均几	合計	半生	們切	合計	半性	柵切	合計
2	給 料												
3	職員手当等												
4	共 済 費												
7	賃 金												
8	報 償 費												
9	旅費												
10	交 際 費												
11	需 用 費												
	消耗品費												
	燃料費												
	食料費												
	印刷製本費 光 熱 水 費												
	修繕料												
	דיף ביוי פיו												
12	役 務 費												
	通信運搬費												
	広 告 料												
	手 数 料												
	保 険 料												
13	委 託 料	30,000		30,000							8,000		8,000
14	使用料及び賃借料												
15	工事請負費	226,000		226,000	301,000)	301,000	438,000		438,000	623,000		623,000
16	原 材 料 費公有財産購入費	60,000		60,000	60.000)	60,000	20,000		20,000	F 000		5,000
17 18	備品購入費	60,000		60,000	60,000	,	60,000	20,000		20,000	5,000		5,000
19	負担金補助·交付金												
20	扶 助 費												
21	貸 付 金												
22	補償補填及び賠償金				14,000)	14,000				5,000		5,000
23	償還金利子·割引料												
24	投資及び出資金												
25	積 立 金												
26	寄附金					+							
27	公 課 費 繰 出 金												
26	課 出 宝計	316,000		316,000	375,000)	375,000	458,000		458,000	641,000		641,000
	国	515,000		_10,000	510,000		510,000	150,000		100,000	511,000		511,000
	県												
	地 方 債	257,400		257,400	337,500)	337,500	412,200		412,200	576,900		576,900
財	辺 地 債												
源	過 疎 債												
内訳	合併特例債												
ш		257,400		257,400	337,500)	337,500	412,200		412,200	576,900		576,900
	その他	50.000		F0.225	05.5		97.50	45.005		45.00	04.100		04.105
	一般財源計	58,600		58,600	37,500	_	37,500	45,800		45,800	64,100		64,100
		316,000		316,000	375,000		375,000	458,000		458,000	641,000		641,000
補	助率												
補	助基本額												
刊	少少个贯				l			<u> </u>					

	・ ランド 76 ランド 76	31414 事 務 事業名	総合治水対策事業		<u>担当 </u>			
O ==T	· ·			=				
2 計	呼価の部 <	SEE > ① 政策体系と	の敷合性	評価	評価理由			
A E	目的妥当性	・この事業の 本シートの結	目的は基本事業の意図(基果)に結びつくか?	■ 結びついている □ 見直す必要がある	を地の浸水被害や道路冠水の低減を図り治水対策を推進し、水害被害の防止を行うことで、防災対策の推進に結びつく。			
	評価	ないのか?	妥当性 なぜ市が行わなければなら して、達成する目的か?	 ■ 妥当である □ 見直す必要がある	公共施設である道路の冠水から通行車両及び歩行者の安全を確保し、また、地域住民を浸水被害から守るため、市が関与することは妥当である。			
P. #	有効性評価	でいるか?	対して事業は順調に進ん	■ 順調に進捗してい	治水対策には、多額な事業費が必要であるが、少ない事業費で浸水軽減を図った箇所もある。しかしながら、残りの箇所については、補助事業の導入も図りたい。			
	月刈江計画	・事務事業を		■ 影響がある □ 影響がない	浸水被害が見られる地域の周辺部の農地の宅地 化が進み、遊水地が減少する状況の中で、廃止・ 中止することは被害がさらに拡大する恐れがある。			
C &	协率性評価	か?(仕様や) 力など)	ずに事業費を削減できない 工法の適正化、住民の協	□削減余地がある	浸水被害が発生している箇所の多くが住宅密集地に位置 しており、用地確保及び工事に多額の経費が必要となる。 しかしながら施設設置場所を道路等の公共用地を最大限 に利用しているため経費の削減余地は無い。			
, o x	∅ ┿ Ιエਜ⊤ΙШ	・やり方を工具時間を削減で		<u>B</u> 削減余地がない □ 削減余地がある	地元説明会、用地取得のための地権者との交渉、施設設計の委託費積算や工事費積算及び現場指導を職員が担当することになる。これらは、市の職員でなければ対応できない業務のため削減できない。			
D ½	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 D 公平性評価 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?			■ 公平・公正である □ 見直す必要がある	11. 水 書がら仕 氏を守るだめ() 整幅 (*めり 一部())			
	(1)1次記	平価者(課長)とし	ての評価結果	(2)全体総括(振り返り	J、反省点)			
総括	A 目的妥 B 有効性 C 効率性 D 公平性	■適切	□ 見直す必要がある□ 見直す必要がある□ 見直す必要がある□ 見直す必要がある	ある。実施には多額の事業質	生していることから早急に整備しなければならない事業で 費を必要とすることから、施設を設置する場合は可能な限 し、施策に基づき事業を行う。			
3 4	後の方向に	生 <plan></plan>	- +					
		もとづく今後のブ	5向性	(2)具体的な改善計画	(又は廃止・休止すべきとした場合の理由)			
		[目的妥当性(・ ・ ・(コスト削減)	D②、有効性④の結果] D②、有効性④の結果] [有効性③④の結果] [効率⑤⑥の結果]	もあるが、まだ多くの箇所に・	費が必要である。少ない事業費で浸水軽減を図った箇所 ついては、未整備で多額の事業費を要することから、下水 力事業の導入を図る必要がある。			
	公平性改善	ļ.	[公平性⑦の結果]					

■ 現状維持·継続